

公益財団法人熊本県スポーツ協会会報誌

スポーツ KUMAMOTO

No 125

2021.12

東京2020オリンピック

100円募金のお願い

令和2年度事業報告

令和3年度事業計画

スポーツ安全保険案内

総合型地域スポーツクラブ紹介!!

令和2年度免税募金

免税募金のお願い

熊本地震(平成28年4月)で被災した熊本城の天守閣内部が修復完了し、「復興のシンボル」として5年ぶりに入場が再開されました。熊本の完全復興を目指す人々に元氣と勇氣を与えてくれます。

スポーツくじ



この会報誌は、スポーツ振興くじ助成金を受けて実施しています。

公益財団法人熊本県スポーツ協会

〒861-8012

熊本県熊本市東区平山町2776 県民総合運動公園陸上競技場内

TEL:096-388-1581 FAX:096-388-1584

E-MAIL:main@kumamoto-sports.or.jp

URL:http://kumamoto-sports.or.jp





東京2020オリンピック

この夏、 熱い感動をありがとう

新型コロナウイルス感染症の影響がある中、東京2020オリンピック競技大会が開催され、スポーツが生み出す勇気と感動が全世界へ発信されました。そこには、熊本県にゆかりある選手の勇姿も多く見られました。大会終了の後も、その輝きが続くと共に、次の世代へと引き継がれていく光を感じました。



No.	選手名	所 属	競技名
1	成 松 大 介	自衛隊体育学校	ボクシング 男子ライト級
2	小 林 優 香	日本競輪選手会	自転車 トラック短距離
3	志 水 祐 介	ブルボンウォーターポロクラブ柏崎	水球 男子
4	北 里 謙 治	埼玉県飯能市役所	ホッケー 男子
5	村 上 宗 隆	東京ヤクルトスワローズ	野球
6	山 口 茜	再春館製菓所	バドミントン 女子シングルス
7	福 島 由 紀	丸杉 Bluvic	バドミントン 女子ダブルス
8	廣 田 彩 花	丸杉 Bluvic	
9	園 田 啓 悟	トナミ運輸	バドミントン 男子ダブルス
10	嘉 村 健 士	トナミ運輸	
11	島 津 玲 奈	自衛隊体育学校	近代五種 女子個人
12	永 田 しおり	オムロンハンドボール部	ハンドボール 女子
13	岩 下 祐 太	トヨタ紡績九州ハンドボール部	ハンドボール 男子
14	古 賀 紗理奈	NEC レッドロケッツ	バレーボール 女子
15	小 幡 真 子	JT マーヴェラス	



近代五種：島津玲奈さん(左)、ハンドボール(男子)：岩下祐太さん(中)、ハンドボール(女子)：永田しおりさん(右)が本会事務局を訪問され、大会での様子をお話しいただきました。

世界で輝け！ 郷土アスリートたち



東京2020オリンピック・パラリンピック 熊本県ゆかりの選手応援企画「世界で輝け！ 郷土アスリートたち」として、(一財)熊本県スポーツ振興事業団と共催し、えがお健康スタジアム他5会場の県有施設において実施。パネル設置やスライドショーによる選手紹介で、競技への注目とスポーツに対する感心を高めていただく事が出来、国旗には多くの応援メッセージが刻まれました。



100円募金のお願い

本会は、「スポーツが持つ限りない力を最大限に生かし、明るく豊かで健康的な活力ある熊本づくり」を目指し、加盟団体や関係機関と連携しながら、スポーツの社会的な役割を果たすべく、本県のスポーツ振興に寄与する活動を行っております。

- ◆スポーツに親しむことができる環境の整備を行う『地域スポーツの振興』
- ◆県民に夢や希望を与えることができるトップアスリートの養成を行う『競技力の向上』
- ◆心身ともに健やかな子どもの育成に努める『スポーツによる青少年の健全育成』

本会と本会に加盟する72団体は、協同で自助努力に努めながら、各事業に精力的に取り組んで参ります。

引き続き、スポーツに対する安定した財政基盤を確保し、スポーツ文化の向上とスポーツの社会的な貢献を果たしていくため、「100円募金活動」を通じて、広く県民の皆様にはスポーツに対する御理解と御支援をいただきながら、本県スポーツの更なる発展のため力を注いで参ります。

何卒、御協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和2年度 事業報告

(I) 総務常任委員会

1 会議関係 (県スポーツ協会関係)

(1) 評議員会

- ① 定時 (6月12日)：県民総合運動公園陸上競技場会議室／評議員出席42人
 - ・令和元年度事業報告について
 - ・令和元年度決算報告並びに監査報告について
 - ・評議員の選任について
 - ・理事及び監事の選任について
 - ・山鹿市からの熊本県民体育祭開催順の変更並びに菊池郡市との合同開催に係る要望
- ② 臨時 (3月12日)：県民総合運動公園陸上競技場会議室／評議員出席44人
 - ・熊本県民体育祭開催基準要項について
 - ・第76回熊本県民体育祭八代大会実施要項について

(2) 理事会

- ① 臨時 (決議省略による理事会：5月16日決議／理事全員同意)
 - ・第75回熊本県民体育祭玉名荒尾大会の中止について
- ② 第1回 (決議省略による理事会：5月28日決議／理事全員同意)
 - ・令和元年度事業報告について
 - ・令和元年度決算報告並びに監査報告について
 - ・評議員、理事及び監事の選任について
 - ・令和2年度熊本県スポーツ協会表彰について
 - ・第77回熊本県民体育祭 (水俣市・葦北郡) 大会について
 - ・山鹿市からの熊本県民体育祭開催順の変更並びに菊池郡市との合同開催に係る要望
 - ・定時評議員会の開催について
- ③ 第2回 (6月15日)：熊本ホテルキャッスル／理事出席23人
 - ・代表理事の選定について
 - ・業務執行、行理事の選定について
 - ・各委員会構成について
 - ・顧問並びに参与の任期について
 - ・顧問並びに参与の委嘱について
 - ・国民体育大会及び国民体育大会九州ブロック大会の本部役員編成について
- ④ 第3回 (決議省略による理事会：12月10日決議／理事全員同意)
 - ・第76回国民体育大会冬季大会本部役員編成について
 - ・臨時評議員会の開催について
 - ・スポーツ振興くじ助成事業の申請について
 - ・熊本県民体育祭開催基準要項の一部改正について
 - ・令和3年度日韓スポーツ交流事業について
- ⑤ 第4回 (2月25日)：ホテル熊本テルサ／理事出席23人
 - ・令和3年度事業計画について
 - ・令和3年度予算について
 - ・令和3年度第76回熊本県民体育祭八代大会実施要項について
 - ・令和5年度第78回熊本県民体育祭 (山鹿市・菊池郡市) 大会の開催について
 - ・スポーツ団体ガバナンスコードの遵守状況に関する自己説明・公表の実施について

(3) 役員会 * 理事会等の審議事項について

- ① 第1回 (5月21日)：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ② 第2回 (7月22日)：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ／出席9人
- ③ 第3回 (11月20日)：水前寺共済会館／出席9人
- ④ 第4回 (2月18日)：水前寺共済会館／出席9人

(4) 総務常任委員会

- ① 第1回 (4月24日)：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面審議
 - ・令和元年度総務関係事業報告について
 - ・令和元年度総務関係決算報告について
- ② 第2回 (6月30日)：水前寺共済会館／出席3人
 - ・委員長、副委員長について
 - ・総務常任委員会について
 - ・令和2年度総務関係事業計画・予算について
- ③ 第3回 (2月12日)：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面審議
 - ・令和3年度総務関係事業計画について
 - ・令和3年度総務関係予算について
 - ・スポーツ団体ガバナンスコードの遵守状況に関する自己説明・公表の実施について

(5) 定期監査 (5月14日)：県民総合運動公園陸上競技場会議室／監事3人出席

- ・県スポーツ協会監事による事業及び会計の監査

2 会議関係 (日本スポーツ協会関係)

- (1) 定時評議員会 (7月31日)：東京都及びオンライン会議を併用／事務局長出席
 - ・令和元年度事業報告及び決算について
 - ・定款の改定について
 - ・評議員候補者の推薦について
 - ・理事の選任について
 - ・スポーツ団体ガバナンスコード対応状況について
- (2) スポーツ団体ガバナンスコードへの対応に関する説明会 (7月31日)：東京都及びオンライン会議を併用／事務局長出席
 - ・スポーツ団体ガバナンスコードへの対応に関する

説明

- (3) 加盟団体代表者会議 (3月17日)：Web 会議／専務理事・事務局長出席
 - ・令和3年度日本スポーツ協会事業計画・予算
- (4) 加盟団体経営フォーラム (3月16日～17日)：オンライン方式／事務局次長出席
 - ・高度化、専門化するスポーツ団体法人運営に適切に対応するための講座 (11コマ)
- (5) 国体連絡会議 (3月17日)：オンライン会議／事務局長出席
 - ・第76回国民体育大会 (三重県) について
 - ・国民体育大会に関する協議・連絡事項について

3 会議関係 (都道府県体育・スポーツ協会連合会関係)

- (1) 総会 (3月16日)：オンライン会議／専務理事出席
 - ・次期 (令和3・4年度) 役員改選について
 - ・令和2年度事業報告並びに決算報告について
 - ・令和3年度事業計画並びに予算について
 - ・日本スポーツ協会からの情報提供について
- (2) 西地区事務局長研修会 (11月18日)：オンライン会議／事務局長出席
 - ・日本スポーツ協会事業説明
 - ・講演「これからの地域スポーツを共に考える」講師：久田 晴男氏 (スポーツ庁健康スポーツ課連携推進課長)
- (3) 事務局職員研修会 (12月2日)：オンライン会議／事務局職員出席
 - ・日本スポーツ協会・都道府県連合会・三重県 (国体開催) 等事業説明
 - ・テーマ別分科会 (総務・競技スポーツ・生涯スポーツ) 及び研究協議等

4 会議関係 (九州地区体育・スポーツ協会連絡協議会関係)

- (1) 連絡協議会
 - ① 第1回 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面審議：4月17日承認)
 - ・令和元年度連絡協議会事業・決算報告について
 - ・令和2年度連絡協議会事業計画・予算について
 - ・令和元年度国民体育大会第39回九州ブロック大会事業・決算報告について
 - ・令和2年度国民体育大会第40回九州ブロック大会予算・実施要項等について
 - ・令和3年度国民体育大会第41回九州ブロック大会日程及び会場地について
 - ・令和2年度国民体育大会第40回九州ブロック大会カヌー競技会の開催可否について
 - ② 臨時幹事会 (5月28日)：オンライン会議／専務理事出席
 - ・令和2年度国民体育大会第40回九州ブロック大会 (夏・秋季大会) の開催可否について
 - ③ 第2回 (11月5日)：オンライン会議／専務理事出席3人
 - ・令和3年度国民体育大会第41回九州ブロック大会について
 - ・令和4年度国民体育大会第42回九州ブロック大会日程・競技会場一覧について

5 会議関係 (その他)

- (1) スポーツ振興事業助成 (toto) 説明会 (11月16日)：動画配信／事務局次長出席
 - ・令和3年度スポーツ振興事業助成の募集内容
 - ・令和2年度からの主な変更点
 - ・スポーツ振興事業助成金を受ける団体の心得について
- (2) 公益法人立入検査 (12月17日)：県民総合運動公園陸上競技場会議室／事務局長他2人
 - ・「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」に基づく検査
 - ・検査官2人 (熊本県教育庁教育政策課) による公益認定基準の状況、法人の組織及び管理・運営の状況、定期報告書類及び届出等の状況の検査。
 - ・検査結果、指摘・特記事項なし

6 事業関係

- (1) 加盟団体長・理事長 (1月9日)：ホテル日航熊本／新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
 - ・東京オリンピックボクシング競技代表 成松 大介氏 (自衛隊体育学校) の講演会を予定。
- (2) 国際・全国スポーツ大会優勝祝賀会 (1月9日)：ホテル日航熊本／新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
 - ・2020年に実施された全国大会等で優勝した個人・団体の祝賀会を予定。

< 祝賀会対象者の推移 (監査含む：延べ人数) >

平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
25競技	21競技	27競技	16競技	中止
243人	190人	222人	172人	

(3) 広報活動

- ① 会報誌発行：年2回 (12月・3月) 各2000部発行
- ② ホームページ：年4回 (6月・9月・12月・3月) 更新 * お知らせ欄は随時更新
- ③ 規程集・名簿集の作成：本会役員並びに加盟団体及び関係機関等に配付 (隔年作成)
- (4) 県スポーツ協会親善ゴルフ大会 (11月25日)：くまもと城南カントリークラブ
 - ・県スポ協役員、協賛・加盟団体から43人参加
- (5) 会長杯ゴルフ大会 (2月6日)：あつまるレクカ

ントリクラブ／新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

(II) 地域スポーツ常任委員会

1 会議関係

(1) 常任委員会

- ① 第1回 (4月27日)：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面審議
 - ・令和元年度事業報告・決算報告について
- ② 第2回 (7月6日)：7月豪雨災害により会議中止・後日書面審議
 - ・スポーツ推進方策について
 - ・令和2年度事業計画・予算について
 - ・正副委員長の互選及び専門委員会の委員について
- ③ 第3回 (11月4日)：県民交流館バレー／委員4人出席
 - ・第2回県民スポーツ専門委員会と合同会
 - ・第75回熊本県民体育祭玉名荒尾大会について
 - ・今後の熊本県民体育祭の意見要望
 - ・第76回熊本県民体育祭八代大会について
- ④ 第4回 (2月8日)：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面審議
 - ・令和3年度事業計画 (案) 並びに予算 (案) について
 - ・熊本県民体育祭について

< 県民スポーツ専門委員会 >

1 会議関係 (県スポーツ協会)

(1) 専門委員会

- ① 第1回 (7月6日)：7月豪雨災害により会議中止・後日書面審議
 - ・指導者養成関連
 - ・県民体育祭関連 (調査説明及び結果報告)
- ② 第2回 (11月4日)：県民交流館バレー／委員52人出席 * 第3回地域スポーツ常任委員会と合同会
 - ・内容は上記「第3回常任委員会」を参照

2 会議関係 (日本スポーツ協会)

- (1) 都道府県事務担当者会 * 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止【資料提供】
 - ・令和2年度事業概要及び各種手続き説明
- (2) 全国スポーツ指導者連絡会議 * 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

3 会議関係 (熊本県民体育祭)

- * 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため本大会並びに関連会議等を中止

(1) 都市代表者会

- ① 第1回 (8月12日)：県庁地下大会議室／関係競技団体及び参加都市体育・スポーツ協会
- ② 第2回 (9月2日)：県庁地下大会議室／関係競技団体及び参加都市体育・スポーツ協会

(2) 第75回県民体育祭玉名荒尾大会実行委員会総会

- * 新型コロナウイルス感染対策のため書面決議【本会対応なし】

(3) 第76回県民体育祭八代大会実行委員会設立総会

- * 新型コロナウイルス感染対策のため年度内開催を見送り【本会対応なし】

4 事業関係 (大会関係)

- (1) 第75回熊本県民体育祭玉名荒尾大会
 - * 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止 (公開競技を含む)
 - ・期日：令和2年9月19日～20日
 - ・主会場：玉名市・荒尾市・玉東町・和水町・南関町・長洲町
 - ・実施競技：陸上競技、水泳、軟式野球、ソフトボール、ソフトテニス、卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、サッカー、柔道、剣道、弓道、相撲、銃剣道、空手道、アーチェリー、クレ射撃、馬術、テニス、ゲートボール、ボウリング、グラウンドゴルフ【以上、24採点競技】カヌー、ウエイトリフティング、ボクシング、登山、セーリング、ゴルフ、新体操、日本拳法、レスリング、ラグビーフットボール【以上、10公開競技】

< 熊本県民体育祭 採点競技 選手・監督の参加人数 (都役員・競技会審判役員除く) >

開催年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
開催都市	阿蘇郡市	人吉球磨	特別大会	宇城地域	荒玉地域
参加人数	開催中止	6627人	6607人	6874人	開催中止

(2) 日本スポーツマスターズ2020 愛媛大会 (9月18日～22日)：愛媛県

- * 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響のため中止

- ・主催：公益財団法人日本スポーツ協会並びに開催県関係団体

- ・実施競技：水泳、サッカー、テニス、バレーボール、バスケットボール、自転車、軟式野球、ソフトテニス、ソフトボール、バドミントン、空手道、ボウリング、ゴルフ (13競技)

(3) 日中成人スポーツ交流事業 (日本スポーツ協会主催事業：2020年・2021年／熊本県実施)

- * 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響のため中止
- ・主催：公益財団法人日本スポーツ協会

- ・共催 公益財団法人熊本県スポーツ協会及び関係中央競技団体
- ・期日 派遣／5月25日～29日：中国四川省 受入／11月27日～12月1日：熊本県
- ・実施競技 テニス・バスケットボール・卓球・バドミントン（4競技：日中各61人）

5 事業関係（研修会・講習会関係）

(1) 熊本県スポーツ指導者研修会（6月7日：県民交流館パレア）

- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響のため12月19日に延期後中止

<研修会参加人数>

開催年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加人数	104人	132人	149人	128人	中止

(2) 公認スポーツ指導者全国研修会（11月29日：オンライン開催）

- ・特別講演「コーチングの脳科学」
講師：茂木健一郎氏（脳科学者）
- ・トレーニングセミナー「スポーツ活動再開後のコンディショニング講座」
講師：倉持梨恵子氏（中京大学スポーツ科学部スポーツ健康科学科 准教授）
助手：崎濱星郎氏（中京大学スポーツ科学部スポーツ健康科学科 助教）
箱崎太誠氏（中京大学スポーツ科学部スポーツ健康科学科 助手）
- ・ワークショップ「コーチングの倫理観を共有してみよう～グッドコーチを目指して～」
講師：黒岩純氏（流通経済大学スポーツ健康科学部大学院スポーツ健康科学研究科 教授）

(3) 日本スポーツ協会公認コーチングアシスタント養成講座（NHK学園の通信講座）

- ・NHK学園の通信講座。年4回開催。（4季随時受付）

(4) 日本スポーツ協会公認コーチ1養成講習会

- ・共通科目Ⅰ：NHK学園通信講座による
- ・専門科目：独自事業：バレーボール：8月25日～9月5日

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

(5) 公認コーチ2養成講習会 ※実施希望無し

<本県開催：コーチ1・2（旧指導員・上級指導員）養成講習会 受講者【新規取得者】>

実施競技	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ソフトテニス指導員	11人	—	26人	—	—
卓球上級指導員	11人	5人	—	—	—
ソフトボール指導員	—	13人	—	—	—
空手道指導員	—	26人	—	—	—
空手道上級指導員	—	16人	16人	—	—
バドミントン指導員	—	10人	—	12人	—
バレーボール指導員	—	56人	54人	23人	—

6 事業関係（助成事業関係）

(1) 地域スポーツ普及事業

- ・助成対象団体：本会加盟の地域体育・スポーツ協会
- ・助成額：2,700,000円

協会名	実施事業名
熊本市	生涯スポーツ振興事業
八代市	スポーツ八代応援事業
人吉市	スポーツ教室事業
荒尾市	加盟団体普及強化事業
玉名市	県民体育祭各種目団体組織整備強化
宇土市	市主催体育行事・指導者研修会等
上天草市	上天草市民体育祭
宇城市	県民体育祭強化練習・選手強化事業
天草市	スポーツ教室事業
山鹿市	山鹿灯籠まつり各種大会
玉名郡	組織基盤整備事業
菊池郡市	熊本県民体育祭菊池郡市選手強化事業
阿蘇郡市	県民体育祭選手強化事業
上益城郡	上益城郡陸上競技強化練習事業
下益城郡	各協会実技講習会事業
八代郡	フレコールデンエイジ・ゴールデンエイジ期運動会充実事業
葦北郡	県民体育祭選手強化事業
球磨郡	都市対抗伝事業
天草郡	県民体育祭選手強化事業

(2) スポーツ教室開設事業（幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム訪問教室）

- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため講師派遣型教室開設を中止し、「おうちでもできるアクティブチャイルドプログラム」の紹介動画を作成。本会ホームページ及びYouTubeで展開。

(3) スポーツ指導者等と地域スポーツのマッチング・情報提供事業

- ・地域から要望があったスポーツ指導者やスポーツ関係の講師について、本会加盟団体や本会役員と連携し、マッチング・情報提供を積極的に行う。以下の団体に対して講師等を紹介。

①天草市地域振興部スポーツ振興課

- ・日時：1月31日（日）午前9時～午後12時30分
- ・会場：天草市民センター展示ホール
- ・内容：社会体育クラブ指導者育成に係る研修会
- ・講師：アクティブ・チャイルド・プログラム講師 齋藤 久允氏・村上 久栄氏
- ・参加実績：17人

(4) 熊本県スポーツ指導者協議会活動推進事業

- ・助成対象団体：熊本県スポーツ指導者協議会
- ・助成内容：熊本県スポーツ指導者協議会の運営及び事業に対する助成
- ・助成額：200,000円（団体からの申請額による）

(5) 加盟団体組織強化費

- ①国体外競技強化・普及事業
- ・国体外競技8競技団体に助成金交付560,000円

団体名	実施事業名
グラウンド・ゴルフ協会	指導員認定講習会
ゲートボール連合	ゲートボール技能検定講座
少林寺拳法連盟	県中学生少林寺拳法熊本県大会
ダンススポーツ連盟	グレートアップ講座
武術太極拳連盟	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策
テコンドー協会	テコンドー講習会
日本拳法連盟	代表者会議及び審判・指導者講習会
バウンドテニス協会	熊本県新人親大会・バウンドテニスジュニア大会

②免税募金還元事業

- ・免税募金：100円募金の協力団体への還元金／47加盟団体：2,463,265円

7 表彰関係

(1) 熊本県スポーツ協会表彰事業（新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため表彰式中止）

- ・スポーツ功労者16人／スポーツ優良団体7団体

<県スポーツ協会表彰者の推移>

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
スポーツ功労者	17人	22人	21人	25人	16人
スポーツ優秀者	3人	—	1人	2人	—
スポーツ優良団体	5団体	8団体	6団体	8団体	7団体

(2) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰事業（新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため表彰式中止）

- ・本県受賞者：松下 和徳氏（熊本県医師会推薦／スポーツドクター）
池田 政秀氏（熊本県サッカー協会推薦／コーチ）
福永 政民氏（熊本県水泳協会推薦／コーチ）
後藤 義雄氏（熊本県スポーツ指導者協議会／コーチ）

(3) 2020年度ミズノスポーツメントール賞

- ・本県推薦なし

8 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者登録状況

(1) 熊本県登録数 全体合計：2974人（10月1日付け登録者）

- 【内訳】・競技別指導者資格（スタートコーチ・コーチ1～4・教師）／2558人
- ・フィットネス資格（プログラマー・フィットネストレーナー・ジュニアスポーツ指導員）／93人
- ・メディカル・コンディショニング資格（アスレティックトレーナー・スポーツドクター等）／129人
- ・マネジメント資格（アシスタントマネジャー・クラブマネジャー等）／187人
- ・基礎資格（コーチングアシスタント）／7人

<公認スポーツ指導者登録状況>

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
全体合計（スポーツリーダー除く）	2664人	2670人	2749人	2868人	2974人
競技別指導者資格	2300人	2299人	2354人	2475人	2558人
フィットネス資格	97人	97人	95人	98人	93人
メディカル・コンディショニング資格	108人	115人	118人	122人	129人
マネジメント資格	159人	159人	182人	173人	187人
基礎資格（2020年10月より新設）	—	—	—	—	7人

<総合型地域スポーツクラブ専門委員会>

1 会議関係（県スポーツ協会）

(1) 専門委員会

- ①第1回（7月6日～7月豪雨災害により中止。11月16日に変更）：水前寺共済会館／委員6人出席）
・令和元年度事業報告及び決算報告
・令和2年度事業計画及び予算
・総合型地域スポーツクラブ概要調査結果
・登録・認証制度及び中間支援組織の整備
・今後の総合型地域スポーツクラブへの支援策
- ②第2回（2月8日：オンライン／委員6人出席）
・令和3年度総合型地域スポーツクラブ専門委員会について
・総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度及び中間支援組織の整備について
・県内クラブの状況及び支援策について

2 会議関係（日本スポーツ協会）

(1) クラブアドバイザーミーティング（7月14日：オンライン開催／事務局2人出席）

- ・日本スポーツ協会からの情報提供
- ・新型コロナウイルス感染症対策におけるアドバイ

ザー活動の情報交換

(2) リモートネットワークアクション2020（12月21日：オンライン開催／スポ協選出理事・事務局3人出席）

- ・総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度の模擬申請及び情報共有

(3) 新しいかたちのクラブネットワークアクション（オンライン開催／スポ協選出理事・事務局3人出席）

- ・期日：2月13日 午後1時～午後3時
- ・内容：「新時代・地域との融合」動画配信でコロナ禍の長崎（佐世保）から総合型クラブのこれからを考える。参加者によるトークセッションとシンポジウム

(4) 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度運用開始に向けた説明会（12月14日：オンライン開催／事務局2人出席）

- ・登録・認証制度運用開始に向けた取組スケジュールについて
- ・登録・認証制度開始延期後の役員選出スケジュールについて
- ・登録・認証制度開始延期に伴う諸規定の変更案について

(5) 令和2年度総合型地域スポーツクラブ全国協議会総会（2月24日：オンライン開催／スポ協選出理事・事務局3人出席）

- ・中間支援組織の整備に向けた取組に関する状況把握結果のフィードバック
- ・中間支援組織の整備に向けたグループディスカッション
- ・グループディスカッション内容の共有

3 ヒアリング関係

(1) 活動クラブ【延べ25クラブ】

No.	クラブ名	訪問日
1	サンビレッジみなたスポーツクラブ	6月23日
2	チャレンジイトおおたこう	6月25日・10月28日
3	葛島湧く湧く元気クラブ	7月6日
4	さかもと未来クラブ	7月10日
5	ひかわスポーツクラブ	7月20日
6	NPO法人とみあい総合型クラブ	7月28日
7	クラブこうし	7月29日
8	ヴィーブル FUN クラブ	7月29日
9	アロマクラブ	7月30日
10	長嶺地域スポーツクラブ	8月5日・11月1日
11	カルヴァーリオ・ラッソ人吉	8月30日・9月8日
12	NPO法人ヴィーノバ水俣	9月24日
13	NPO法人上天草スポーツクラブ	9月25日
14	NPO法人A-life なんかん	10月5日
15	田辺地域スポーツクラブ	10月8日
16	山都ふれあいスポーツクラブ	10月8日
17	クラブなごみ	10月20日
18	中央ふれあいスポーツクラブ	11月1日
19	やつし総合型クラブ「リ・ボンズ」	11月14日・3月3日
20	高SPO	2月25日
21	くまむらスマイルスポーツクラブ	3月29日

(2) 既設置市町村【延べ21市町村】

No.	市町村名	訪問日
1	嘉島町	7月21日
2	水上村	9月4日
3	益城町	9月8日
4	御船町	9月8日
5	津奈木町	9月8日
6	永川町	9月9日
7	南阿蘇村	9月15日
8	高森町	9月15日
9	菊陽町	9月17日
10	菊池市	9月17日
11	合志市	9月17日
No.	市町村名	訪問日
12	宇土市	9月23日
13	宇城市	9月23日
14	美里町	9月23日
15	希北町	9月25日
16	八代市	9月28日
17	荒尾市	9月30日
18	大津町	10月7日
19	湯前町	10月12日
20	山江村	10月12日
21	天草市	11月8日

(3) 未育成町村【4町村】

- ①西原村（9月15日・1月14日・3月25日）
- ②南小国町（9月15日）
- ③五木村（9月29日・10月6日）
- ④錦町（9月29日）

(4) 設立準備団体

- ①画図地区総合型地域スポーツクラブ勉強会（3月11日）

(5) 学校【3小学校】

- ①奥古閑小学校（10月15日） ②古町小学校（11月5日）
- ③出水南小学校（11月19日）

4 事業関係

(1) 地域スポーツマネジメント講習会（10月3日～4日：パークドーム熊本／18人参加）

- ・クラブ運営に係る講習会及び検定試験（検定試験受験者10人）
- ・日本スポーツ協会公認アシスタントマネジャー資格専門科目（講習14時間、試験1時間）
- ・講師 立木 宏樹氏（熊本学園大学社会福祉

令和2年度 事業報告

学部ライフ・ウェルネス学科教授）
西田 由美 氏（NPO 法人 A-life なんかん事務局長）
村上 久栄 氏（やつしる総合型クラブ「リ・ボンズ」会長）
河野 真介 氏（一般社団法人志誠会マチと医科学研究所代表理事）
橋垣 真美 氏（NPO 法人長洲にここクラブクラブマネジャー）
兼田 裕明 氏（NPO 法人うとスポーツクラブ副理事長クラブマネジャー）

＜地域スポーツマネジメント講習会参加者・資格取得者実績＞

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加者数	21人	34人	40人	38人	18人
内資格取得者	12人	26人	23人	25人	10人

(2) 地域スポーツ振興「講師等派遣事業」(派遣実績10か所・延べ649人参加)

派遣先	期日	内容	講師	参加者(延べ)
大津町体育協会	7月9日～8月6日(計4日間)	大津町サッカースクール	甲斐 卓 桐原 正壽	84人
アロマクラブ	7月22日・8月29日(計2日間)	ヒップホップダンス体験会	元松芽久美	21人
嘉島湯く湯く元気クラブ	9月4日～9月28日(計3日間)	指導者研修会	立山明佐子 久保田 聡 中尾 雄一 坂田はるみ	73人
チャレンジエイトおおたこ	10月14日～11月4日(計4日間)	タグラグビー教室	江崎 久富 晃之介 國原 誠也 宮本 尚美 野村弥佳子	180人
長嶺地域スポーツクラブ	10月31日～11月8日(計4日間)	ふれあい陸上教室	田中 伸二 田中 宏和	130人
やつしる総合型クラブ「リ・ボンズ」	10月16日～11月6日(計4日間)	楽しくチャレンジ！「器械体操入門」	若崎多喜男	58人
クラブなごみ	11月18日・12月2日(計2日間)	指導者研修会・体験会	松崎貴美子	59人
やつしる総合型クラブ「リ・ボンズ」	8月25日・1月31日(計1日間/1/31中止)	「チャレンジ・ザ・ゲーム」普及養成講習会	齊藤 誠治 立本 勝久	18人
NPO 法人長洲にここクラブ	11月29日・12月13日(計2日間)	指導者研修会	谷川 直昭	8人
カルヴァーリオン・ラン人吉	11月20日・1月16日(計1日間/1/16中止)	こども運動教室	齋藤 久允	18人

＜地域スポーツ振興「講師等派遣事業」実績＞

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
派遣先	9か所	12か所	9か所	12か所	10か所
延べ人数	1019人	763人	1103人	813人	649人

(3) 地域スポーツ指導者研修会(2月7日：オンライン/151人参加)

- ・ワークショップ「あなたならどうする？」
講師：上田 恭裕 氏（熊本県教育庁市町村教育局人権と教育課指導主事）
- ・講演「ジュニア期のスポーツコーチング」
講師：吉田 繁敬 氏（アイ・プラス株式会社代表取締役/吉田ワークセンター）

＜地域スポーツ指導者研修会参加実績＞

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加者数	347人	335人	306人	225人	151人

(4) 熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会活動推進事業・助成対象団体：熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

- ・助成額：100,000円

5 県内クラブ交流大会事業

(1) プロジェクトミーティング

- 第1回(8月6日：オンライン/事務局2人出席)
 - ・県内クラブ交流大会での実施内容について
 - ・総合型クラブの啓発について
 - ・その他企画について
- 第2回(9月3日：オンライン/事務局2人出席)
 - ・県内クラブ交流大会及び啓発事業について
 - ・県民スポーツの日の準備及びスタッフ動静について
 - ・総合型クラブ啓発活動について
- 第3回(10月26日：オンライン/事務局2人出席)
 - ・オンラインセミナーの開催について
 - ・県内クラブ交流事業及び被災地支援について
 - ・研修会の開催について

(2) 実行委員会

- 第1回(7月17日：県民総合運動公園陸上競技場/スポンサー選出理事2人、事務局2人出席)
 - ・令和2年度県内クラブ交流大会の開催について
 - ・実行委員会委員及び大会役員について
 - ・実施内容について
- 第2回(10月19日：オンライン/スポンサー選出理事2人、事務局2人出席)
 - ・熊本市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会交

流会について

- ・県民スポーツの日「ふれあいスポーツ」について
- ・県内クラブ交流大会の開催について
- ・総合型クラブ啓発PR事業について
- ③第3回(11月6日：オンライン/スポンサー選出理事2人、事務局2人出席)
 - ・県内クラブ交流事業の実施及び被災地支援について
 - ・総合型クラブの啓発について

(3) 県内クラブ交流事業

- 第1回(12月6日：人吉城跡/スポンサー選出理事・事務局3人出席)
 - ・内容 豪雨災害復旧・復興支援事業(人吉城跡角櫓、多間櫓の床板剥、床下土砂撤出)
 - ・参加者 18クラブ 46人
- 第2回(2月20日：球磨村総合運動公園さくらドーム、球磨村立渡小学校/事務局2人出席)
 - ・内容 球磨村在住の子どもから高齢者対象の運動遊び&ニュースポーツ体験活動及び復旧・復興支援事業(渡小ランチルーム等土砂土砂撤出、机・椅子撤出・清掃)
 - ・参加者 14クラブ 38人

6 連絡協議会関連事業

(1) 評議員会(決議省略による評議員会：7月10日決議)

(2) 理事会

- 第1回(6月19日：ウイングまつばせ/スポンサー選出理事・事務局4人出席)
- 第2回(8月6日：県民総合運動公園陸上競技場/スポンサー選出理事・事務局4人出席)
- 第3回(10月2日：オンライン会議/スポンサー選出理事・事務局4人出席)
- 第4回(10月13日：オンライン会議/スポンサー選出理事・事務局4人出席)
- 第5回(11月6日：オンライン会議/スポンサー選出理事・事務局4人出席)
- 第6回(3月12日：オンライン会議/スポンサー選出理事・事務局4人出席)

(3) 常任委員会

- 第1回(6月8日：県民総合運動公園陸上競技場/事務局2人出席)
- 第2回(8月7日：オンライン会議/事務局2人出席)
- 第3回(10月26日：オンライン会議事務局2人出席)
- 第4回(1月14日：オンライン会議/事務局2人出席)

(4) オンラインセミナー

回	期日	内容	ファシリテーター・講師
第1回	10月14日	コロナ禍における財源確保	NPO 法人新町スポーツクラブ 理事長 小出 利一 氏
第2回	11月24日	オンラインに慣れている!! ～オリエンテーション～	県総合型クラブ連絡協議会理事長 齋藤 久允 氏
第3回	11月27日	オンラインに慣れている!! ～活用事例を知ろう!～	県総合型クラブ連絡協議会 理事長 齋藤 久允 氏 NPO 法人 A-life なんかん 事務局 西田 由美 氏
第4回	12月2日	オンラインセミナー事務局編～広報とは～	高SPO 事務局 榎木 秀徳 氏 I-YOU スポーツ&カルチャー ラブ副会長 米原 賢一 氏
第5回	12月17日	オンラインセミナー事務局編～ホームページの活用～	NPO 法人うとスポーツクラブ 理事長 若永 孝博 氏 NPO 法人クラブさくようクラブ マネージャー ニノタ 昭子 氏
第6回	12月22日	オンラインセミナー事務局編～法人格の取得、法人の経営～	九州共立大学准教授 内田 満 氏
第7回	1月9日	オンラインセミナー事務局編～やる気アップ～	長崎国際大学准教授 宮良 俊行 氏 NPO 法人ひとづくり JAPAN ネットワーク 井口 佳久 氏 NPO 法人ひとづくり JAPAN ネットワーク 矢田 智美 氏 株式会社 First Step 野島 弘直 氏
第8回	1月18日	オンラインセミナー事務局編～県外クラブの取組事例～	DREAM 火流理事長兼クラブマネージャー 北園 武広 氏 (一社) スポーツリンク白川クラブ マネージャー 渡辺 靖代 氏 (一社) スポーツリンク白川理事 野尻 悟 氏
第9回	1月26日	オンラインセミナー事務局編～県外クラブの取組事例～	NPO 法人クラブおつ副理事長 斎藤 陽子 氏 NPO 法人スポーツ弘前理事長 鹿内 英 氏
第10回	2月21日	オンラインセミナー指導者編～オンラインでレッスンを授けよう!～	ひかわスポーツクラブ指導者 島井 理沙 氏
第11回	2月22日	オンラインセミナー指導者編～県外クラブの取組事例～	NPO 法人うた おおづクラブマネージャー 桐原 正壽 氏 NPO 法人うた ぼんとががな? 森 亮太 氏
第12回	3月22日	オンラインセミナー～登録・認証制度～	熊本県スポーツ協会 クラブアドバイザー 永田 好文 氏
第13回	3月24日	オンラインセミナー～クラブがすべきこと～	総合型地域スポーツクラブ全国協議会幹事長 伊藤 隆康 氏

(5) ブロック別事業

- 北ブロック
 - ・交流会(8月30日：人吉市西瀬コミュニティセンター/事務局1人出席)

②南ブロック

- ・第1回連絡調整会議(7月4日：御船町カルチャーセンター/事務局2人出席)
- ・第2回連絡調整会議(10月31日：御船町カルチャーセンター/事務局1人出席)
- ・交流会(2月28日：ウイングまつばせ/事務局2人出席)
- ・第3回連絡調整会議(3月24日：オンライン/事務局2人出席)

(Ⅲ) 競技スポーツ常任委員会

1 会議関係

(1) 常任委員会

- 第1回(4月27日：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面審議)
 - ・令和元年度事業報告、決算報告
- 第2回(7月2日：水前寺共済会館/常任委員3名)
 - ・委員長・副委員長について
 - ・専門委員会について
 - ・競技スポーツ関係事業及び予算について
- 第3回(2月9日：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面審議)
 - ・令和2年度事業計画(案)・事業予算(案)について

<強化専門委員会>

1 会議関係

(1) 専門委員会

- 第1回(10月27日：水前寺共済会館/委員12人出席)
 - ・国民体育大会の今後の開催地について
 - ・関連事業について
- 第2回(2月9日：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面審議)
 - ・第76回国民体育大会冬季大会成績について
 - ・今後の選手強化に向けた課題・協議について

(2) 競技力向上対策事業説明会(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止/資料及び要旨配布)

- ・基本方針・実施要項及び各種事業要領について
- ・事業費の配分について
- ・助成金交付要項について
- ・スポーツ医科学対策事業、熊本県スポーツ協会自主事業について

2 事業関係(県補助・委託事業関連)

(1) 競技力向上対策事業

①関係団体への助成

- ※41 競技団体および2学校体育団体に助成。うち12 団体に一部返納有り、また2 団体はコロナ禍により事業未実施、全額返納有り。返納された助成金は競技団体へ追加配分。
- ア 選手強化事業 一般強化事業
- イ 選手強化事業 練習環境整備事業
- ウ 一貫指導体制整備事業
 - ・ジュニア育成事業(小・中学生中心)
 - ・ジュニア強化事業(中・高校生)
 - ・指導体制強化事業強化指導者研修派遣事業(中央研修、企業・大学連携)
- ②トータルサポート事業
 - ア 競技力向上対策研修会(11月3日：火の国ハイツ/37 競技団体70名参加)
 - ・講演「競技得点獲得に向けた選手への意識付け」
講師：橋本 公雄 氏(熊本学園大学教授)
 - イ 調査研究・広報事業
 - ・第40 回九州ブロック大会及び第75 回国民体育大会出場競技激励 ※国体中止のため実施無し
 - ・事業説明資料等作成

＜実施団体・参加者数の推移＞

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施団体	41 団体	41 団体	41 団体	41 団体	39 団体
国体強化事業参加者数(延べ)	11,563人	12,795人	10,316人	10,333人	10,379人
一貫指導体制整備事業参加者数(延べ)	10,699人	9,811人	10,274人	8,538人	8,615人

(2) 子どものスポーツ環境整備事業

- ・32 競技団体に助成。練習環境の整備、スポーツ教室、体験合宿等を実施。
- ※32 競技団体に助成。うち2 団体に一部返納有り、また2 団体はコロナ禍により事業未実施、全額返納有り。返納された助成金は競技団体へ追加配分。

＜実施団体・参加者数の推移＞

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施団体	31 団体	29 団体	29 団体	32 団体	30 団体
参加者数(延べ)	2,901人	2,741人	4,149人	7,053人	8,146人

(3) 優秀競技者・指導者育成支援事業

- ・24 競技団体に助成。トップアスリートや優秀な指導者及びスポーツ医科学に精通した講師等を招聘し、研修会や講習会を実施。
- ※24 競技団体に助成。うち1 団体に一部返納有り、また8 団体はコロナ禍により事業未実施、全額返納有り。返納された助成金は競技団体へ追加配分。

<実施団体・参加者数の推移>

年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
実施団体	29 団体	28 団体	27 団体	26 団体	16 団体
参加者数 (延べ)	1,913 人	1,839 人	1,920 人	1,796 人	1,116 人

(4) くまもとワールドアスリート事業アスリート育成・強化プログラム (県委託)

①強化事業

熊本県が選考した指定選手20人並びに育成指定選手20人に各所属競技団体(12競技団体)を通じて助成金を配分。

②メディカルチェック事業

・メディカルチェックは(12月25日、1月8日、1月15日/ヘルスケアセンター)は全て新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

③パーソナルトレーナー配置事業

希望選手に対して派遣し4名実施。

・陸上競技/米田 太陽 選手(日本体育大学) 帯同トレーナー: 今村 友則 氏【準会員/熊本セントラル病院】

・陸上競技/大瀧 末結 選手(熊本西高等学校) 帯同トレーナー: 上廣 和城 氏【準会員/フリーランス】

・ソフトボール/池田 響 選手(熊本工業高校) 帯同トレーナー: 田中 京介 氏【正会員/TrainingCenter SEED(代表)】

・ボクシング/山本 諒真 選手(東海大学付属熊本星翔高校) 帯同トレーナー: 緒方 伸一 氏【正会員/整体院コスタ Treatment Room】

<育成指定選手数の推移>

年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
育成指定選手	46人	29人	31人	29人	40人

(5) 競技力向上対策事業に係る競技団体ヒアリングの実施

・競技団体: 国民体育大会正式競技の41競技団体及び中学校体育連盟・高等学校体育連盟

・期間: 10月中旬～翌年2月末日 ※上記期間中、各団体1時間程度

・実施者: 本会及び県教育庁教育指導局体育保健課競技スポーツ係

・会場: 県民総合運動公園陸上競技場会議室

3 事業関係 (県スポーツ協会自主事業関連)

(1) 第36回日韓親善スポーツ交流(忠清南道)事業(派遣)

・実施期間: 6月25日～28日 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

・対象者: 本県及び韓国の高等学校/各国20名(含む本県役員)

・競技団体: フェンシング(男子・女子)

<過年度大会の選手団推移: 過去5大会>

開催年	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
開催地	忠清南道	熊本	忠清南道	熊本	忠清南道
競技	ラグビー男子	ボクシング男子	ボクシング男子	フェンシング男子	フェンシング男子
選手団合計	20	20	20	20	中止

4 団体派遣関係

(1) 第40回九州ブロック大会(沖縄県)

①夏季大会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

②秋季大会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

③冬季大会

・期日: 12月12日～13日

・場所: 福岡県福岡市

・選手団: 本県役員2人、監督・選手29人

・出場競技: アイスホッケー

・代表権獲得数: 1競技1種目

(2) 第75回国民体育大会(鹿児島県)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期(令和5年度に特別大会として開催)

(3) 第76回国民体育大会冬季大会

①スケート・アイスホッケー競技会

・期日: 1月27日～1月31日

・場所: 愛知県・岐阜県

・選手団: 本県役員4人、スケート監督・選手7人・アイスホッケー監督・選手16人

・出場競技: アイスホッケー

・入賞: スケートショートトラック5000mリレー5位入賞(記録: 7分49秒432)

②・スキー競技会(秋田県)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(4) 国民体育大会本県役員帯同ドクター

※国体中止により実施無し

<国民体育大会の成績推移>

開催年 大会回	平成28年度 第71回	平成29年度 第72回	平成30年度 第73回	令和元年度 第74回	令和2年度 第75回
開催県	岩手県	愛媛県	福井県	茨城県	鹿児島県
総合得点	899.5点	903.3点	915.5点	879.9点	
天皇杯	31位	29位	26位	29位	
皇后杯	22位	24位	27位	34位	

<スポーツ医科学専門委員会>

1 会議関係(県スポーツ協会)

(1) 専門委員会

①第1回(7月2日: 水前寺共済会館/委員11人

出席)

- ・令和2年度事業計画・予算の進捗状況について
- ・競技スポーツ振興事業医科学サポート事業について
- ・くまもとワールドアスリート事業について
- ・トレーナー部会入会について

②第2回(10月27日: 水前寺共済会館/委員9人出席)

- ・国民体育大会の今後の開催地について
- ・関連事業について
- ・くまもとワールドアスリート事業について
- ・スポーツ医科学専門委員会紀要No.36について

③第3回(2月9日: 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面審議)

- ・令和3年度「国体関連」について
- ・令和3年度AT養成講習会推薦について

(2) トレーナー部会(8月12日: オンライン会議/部会員25人出席)

- ・役員改選について
- ・スポーツトレーナー等派遣事業について
- ・くまもとワールドアスリート事業パーソナルトレーナー配置事業について
- ・トレーナー研修会について

2 会議関係(日本スポーツ協会等)

(1) 第75回国体ドクターズ・ミーティング(※本国体中止)

(2) アスレティックトレーナー連絡会議(12月12日: オンライン会議/部長出席)

- ・アスレティックトレーナーの連携及び活動促進・相互研修・情報交換等
- ・都道府県及び中央競技団体における活性化事例

(3) スポーツドクター代表者協議会(3月6日: オンライン会議/委員長出席)

- ・公認スポーツドクターの連携を密にし、活動促進や相互研修、情報交換の促進
- ・アンチ・ドーピング活動の動向
- ・国体選手のメディカルチェックと医科学サポート

3 講習会・研修会(日本スポーツ協会関係)

(1) 日本スポーツ協会公認スポーツドクター養成講習会(※新規受講者の決定を中止)

(2) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会(※新規受講者の決定を中止)

(3) 日本スポーツ協会公認スポーツドクター研修会(※中止)

4 事業関係

(1) スポーツトレーナー等大会派遣事業

・国民体育大会の中止に伴い、例年の「国民体育大会・九州ブロック大会の国体チームへの帯同トレーナー派遣」「競技団体の練習会・試合等への帯同トレーナー派遣」に変更

①陸上競技/帯同トレーナー: 今村 友則 氏【準会員/熊本セントラル病院】

②バスケットボール/帯同トレーナー: 枝尾 久美 氏【正会員/MIC(フリーランス)】

③ラグビーフットボール/帯同トレーナー: 杉本 一洋氏【準会員/熊本セントラル病院】

④剣道/帯同トレーナー: 中山 貴文 氏【準会員/九州中央リハビリテーション学院】

⑤ウエイトリフティング/帯同トレーナー: 木村 淳一氏【正会員/自衛隊熊本病院】

⑥ボート/帯同トレーナー: 植田 真也 氏【準会員/工藤クリニック(大分県)】

(2) 国民体育大会ドクター帯同本部役員派遣>(※国民体育大会の中止に伴い実施無し)

(3) トレーナー研修会(12月16日: くまもと県民交流館バレア及びオンライン/部会員等37人出席)

・スポーツ医科学の知識に関する「オリムピック・ワールドカップ等のメディカルチーム体験を通じて」

講師: 井本 光次郎 氏(熊本赤十字病院)

・トレーナー部会の資質向上を目的とした競技団体アンケート調査の結果について

(4) メディカルチェック事業

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策により、ヘルスケアセンターでの受診を中止。

①基本健康調査票(アンケート形式)の配付・回収

※対象者: 令和2年度冬季大会参加選手及び候補選手、令和3年度国民体育大会候補選手、各競技団体有力選手

②基本健康調査判定会の実施(12月1日: アークホテル熊本)

③メディカルチェック受診(ヘルスケアセンター)の実施(中止)

④メディカルチェック判定会の実施(中止)

⑤メディカルチェック総括会議の実施(中止)

(5) 医科学サポート事業(心理サポート事業・栄養サポート事業)

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、例年の「不特定多数の集合講習会形式」を「実施希望団体への派遣研修会形式」に変更。

①メンタルトレーニング講習会(10月2日: 菊池農業高等学校)

熊本県高等学校体育連盟馬術専門部が選抜した高校生馬術部を対象としたメンタルトレーニング講習会

②栄養サポート講習会(12月23日: 九州学院高等学校)

九州学院高等学校自転車競技部員を対象とした栄養指導。

(6) アンチ・ドーピング教育・啓発事業

①ドーピング・コントロール説明会

・実施回数: 2回(国民体育大会に参加する熊本県選手団に対して結団式等の終了後に実施)

・講師: 本会スポーツ医科学専門委員会委員及びJADA公認DCO

※第1回は本国体中止に伴い未実施。第2回は冬季国体結団式中止に伴い未実施。

②JADA・アンチ・ドーピング加盟団体等連絡会議(オンライン講習)

・新年度におけるアンチ・ドーピング規定等、留意事項の詳細説明等を実施。

③アンチ・ドーピング教育・啓発事業熊本県講習会(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

<アンチ・ドーピング教育・啓発事業熊本県講習会参加実績>

年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
参加者数	49人	63人	58人	51人	中止

(7) スポーツ指導者フォーラム(1月11日: 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

<スポーツ指導者フォーラム参加実績>

年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
参加者数	234人	219人	222人	231人	中止

(8) 研究紀要の編集・発行

・スポーツ医・科学事業の事業内容や研究成果等を編集・冊子化し、加盟団体等へ配布。

(9) スポーツドクター活動活性化事業

・公益社団法人熊本県医師会が行う下記の事業に対して助成事業を実施。

①各種スポーツ大会へのスポーツドクターを派遣する事業

②競技団体を開催する県内研修会等に、スポーツドクターを派遣する事業

③スポーツドクターの資質向上のため、県内研修会を開催する事業

④中央研修会(義務研修会を除く)にスポーツドクターを派遣する事業

(IV) スポーツ少年団本部委員会

1 会議関係(県スポーツ協会)

(1) 本部委員会

①第1回(4月28日/新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため書面審議)

・令和元年度事業報告、決算報告について

②第2回(7月3日: 水前寺共済会館/委員4名出席)

・スポーツ少年団本部委員について

・指導者協議会の構成について

・令和2年度・事業計画予算について

③第3回(2月10日/新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため書面審議)

・令和3年度事業計画・予算案について

・令和3・4年度日本スポーツ少年団役員関連について

・令和6年度九州ブロックスポーツ少年団交流大会関連について

・令和2年度登録状況について

(2) 指導者協議会

①第1回(7月30日: 水前寺共済会館会議室/委員10名出席)

・委員について

・令和元年度事業報告・決算について

・令和2年度事業計画について

②第2回(2月10日/新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため書面審議)

・令和3・4年度日本スポーツ少年団役員関連について

・新型コロナウイルス感染症の影響下における今後の少年団活動について

・令和3年度事業計画(案)・予算(案)について

・令和6年度九州ブロックスポーツ少年団交流大会関連について

(3) 市町村事務担当者説明会(4月28日/新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止(資料送付))

・スポーツ少年団概要説明、事業内容、登録手続き

2 会議関係(九州ブロック関係 幹事県: 福岡県/開催県: 鹿児島県)

(1) 九州ブロックスポーツ少年団連絡協議会(4月23日～24日: 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため書面決議)

・令和元年度日本スポーツ少年団常任委員会の報告

・九州ブロックスポーツ少年団連絡協議会令和元年度決算(案)、同2年度予算(案)

(2) 九州ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会(11月14日～15日: 鹿児島県/指導協会長・指導協女性委員・事務局)

・コロナ禍における現状について

・九州ブロックスポーツ少年団競技別交流大会について

・講演「これからのスポーツ少年団育成のあり方と指導者の役割」

令和2年度 事業報告

- 講師：日本スポーツ協会少年団課 加藤弘和 氏
・研究協議：実践発表／鹿児島県スポーツ少年団指導者協議会運営委員長 他

- (3) **日本スポーツ少年団九州ブロック会議(2月4日：オンライン／本部長、指導協会長、事務局)**
・日本スポーツ少年団役員について
・令和3年度事業計画・予算について
・日本スポーツ少年団指導者制度の改定について
・全国少年大会・競技別交流大会について
・少年団登録システムについて
・九州ブロックスポーツ少年団競技別交流大会について 他

3 会議関係(日本スポーツ少年団)

(1) 委員総会

- ①第1回(6月11日：新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため書面決議)
・令和3年度日本スポーツ少年団活動計画及び要望予算の編成について
②第2回(8月5日：新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため書面決議)
・令和元年度日本スポーツ少年団活動報告及び決算について
③第3回(2月27日：オンライン／本部長出席)
・令和3年度活動計画及び新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた諸対応について
・令和3年度予算案について
・設置規程の改定について
・令和5年度の全国交流大会等の開催地について
(2) **全国スポーツ少年団指導者協議会(6月26日・27日：新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止)**
(3) **都道府県スポーツ少年団事務担当者会(6月2日／新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止【資料送付】)**
・令和2年度各事務手続きについて

4 スポーツ交流事業

- (1) **県大会 *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、バレーボール交流大会以外は中止。**
①バレーボール交流大会(10月17日～18日／熊本市内2会場／16チーム参加)
・成績：1位 日吉VBC(熊本市)
2位 熊本中央VBC(熊本市)
3位 熊本大津ジュニアバレーボールクラブ(大津町)・熊本JVC(熊本市)
＜バレーボール大会の参加状況＞

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加回数	21回	23回	24回	20回	16回
参加団員数	226人	248人	262人	224人	167人

②ソフトボール大会(6月6日～7日)

＜ソフトボール大会の参加状況＞

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加回数	9回	9回	6回	9回	中止
参加団員数	133人	138人	91人	142人	

③軟式野球大会(6月13日・14日20日)

＜軟式野球大会の参加状況＞

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加回数	32回	32回	32回	32回	中止
参加団員数	537人	565人	560人	538人	

④剣道 全国大会県予選(9月12日)

＜剣道大会の参加状況(平成29年度から実施)＞

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
小学生	3回	3回	3回		中止
中学生男子	2人	5人	4人		
中学生女子	1人	4人	3人		

⑤県少林寺拳法交流大会【助成事業】

＜少林寺拳法大会の参加状況＞

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加回数	14回	14回	14回	14回	中止
参加団員数	128人	141人	129人	132人	

⑥くまもとジュニアアスレティックトライアル

(12月20日)

＜ジュニアアスレティックトライアルの参加状況＞

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加回数	10回	15回	25回	20回	中止
参加団員数	73人	151人	258人	321人	

- (2) **九州大会 *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。**

- ①ミニバスケットボール交流大会(8月14日～16日：沖縄県)
②空手道交流大会(8月29日～30日：熊本県)
③軟式野球交流大会(8月14日～16日：大分県)
④ソフトボール交流大会(8月21日～22日：長崎県)
⑤サッカー交流大会(8月21日～23日：沖縄県)
(3) **全国大会 *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。**
①軟式野球交流大会(8月6日～9日：岩手県)
②ホッケー交流大会(12月25日～28日：広島県)
③バレーボール交流大会(3月26日～28日：宮

- 城県)
④剣道交流大会(3月26日～29日：福島県)

5 研修事業

- (1) **スポーツ少年大会 *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。**

- ①全国スポーツ少年大会(7月31日～8月3日：静岡県)
②九州ブロックスポーツ少年大会(8月8日～11日：福岡県)

- (2) **リーダーズスクール *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。**

- ①シニア・リーダーズスクール(9月19日～22日：静岡県)
②ジュニア・リーダーズスクール(3月20日～21日：上天草市)
＜ジュニアリーダーズスクールの参加状況＞

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加回数	10回	12回	12回	8回(予定)	中止
参加団員数	32人	31人	28人	27人(予定)	

6 指導者講習会等

- (1) **スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会(第1回：11月8日／第2回1月30日)**

- *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
＜養成講習会の参加状況＞

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加団員数	78人	107人	93人	86人	中止

- (2) **アクティブ・チャイルド・プログラム関係**

- ①幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム普及促進研修会(12月5日：菊陽町／26名参加)
・本会主催事業として実施。
＜研修会の参加状況＞

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加団員数	72人	38人	49人	29人	26人

- ②幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム講師講習会(9月～1月：全国3会場／京都・福岡・東京)
・本県から3名推薦

- ③アクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)を活用した運動遊び促進事業都道府県体育・スポーツ協会委託事業
ア 普及講習会(派遣事業)
・9月30日～11月20日まで県内の総合型地域スポーツクラブ・学童クラブ等にACP講師を派遣(14会場へ講師を派遣し757名の参加実績)
イ 中央体験会(12月20日)
*新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため事業中止

- (3) **ジュニアスポーツフォーラム(6月16日：東京都)**
*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

7 リーダー会関係 *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

- (1) **県リーダー会総会(6月)**
(2) **全国リーダー連絡会(6月27日～28日：東京都)**
(3) **九州ブロックリーダー研究大会(10月24日～25日：宮崎県)**

8 国際交流事業 *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

- (1) **日独スポーツ少年団同時交流事業**
①受入事業(今年度本県は休止年)
②派遣事業(7月27日～8月6日：ドイツ各地)
・本県参加希望なし

9 日本スポーツ少年団顕彰事業

- (1) **市町村表彰：推薦団体なし**
(2) **指導者表彰：推薦者なし**

10 登録状況

- (1) **単位団体** 熊本県：136団(前年度221団：比－85団)
(2) **指導者数** 熊本県：310人(前年度798人：比－488人)
(3) **役員スタッフ数** 熊本県：226人(令和2年度から新設)
(4) **団員数** 熊本県：2342人(前年度3906人：比－1564人)

＜登録数の状況＞

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
単位団体	177団	189団	192団	221団	136団
指導者数	611人	667人	688人	798人	310人
役員・スタッフ	—	—	—	—	226人
団員数	2,776人	3,193人	3,206人	3,906人	2,342人

(V) 財務特別委員会

1 会議関係

(1) 財務特別委員会

- ①第1回(7月22日：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ／委員出席36人)
・財務特別委員会委員について
・免税募金の目標金額及び活動計画について
・寄附金に係る充当事業並びに収支予算について
②第2回(12月3日／新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面審議)

- ・免税募金及び100円募金の実績経過報告について
・免税募金の目標額及び活動計画について
・上半期事業報告について
(2) **企画会(6月30日：水前寺共済会館／出席10人)**
・財務特別委員会委員について
・免税募金の目標金額及び活動計画について
・寄附金に係る充当事業並びに収支予算について
・免税募金趣意書について
・免税募金・100円募金ポスター及びリーフレットの選定について

2 事業関係

(1) 企業・団体等訪問(200か所)

(2) 100円募金活動

- ①各加盟団体での取り組み(募金額：44加盟団体／1,909,865円)
②街頭募金活動(1月9日：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
③優勝祝賀会(1月9日：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

(3) 周知ポスターの作成

- ①免税募金ポスター：300部作成後、各協賛団体等へ配付
②100円募金ポスター：200部作成後、加盟団体等へ配付

(4) 協賛社(団体)ロゴマーク活用事業(76企業・団体)

- ・10万円以上の寄附社(団体)を対象に、本会の活動を支える支援企業・団体として社名ロゴマークを本会の各種印刷物やホームページ等を活用し広く周知する。

(5) みんながつながる熊本産マスクプロジェクト(社会貢献活動)

- ・778個人・団体からいただいた浄財16,427,166円を本会を通じてプロジェクト本部に寄付。
・コロナ禍で安全・v安心なスポーツ環境を整備するために、本会を通じて加盟団体等の県内スポーツ団体へ92,000枚のマスクを配布。

3 募金実績

(1) 免税募金：25,110,000円(270件)

平成28年	平成29年	平成30年
273件	264件	260件
23,150,000円	23,710,000円	23,592,000円
令和元年	令和2年	
242件	270件	
24,060,000円	25,110,000円	

(2) 100円募金：2,000,074円(加盟団体1,909,865円・事務局90,209円)

平成28年	平成29年	平成30年
65団体	67団体	66団体
4,633,951円	4,392,026円	4,742,927円
令和元年	令和2年	
62団体	47団体	
3,678,614円	2,000,074円	

令和3年度 事業計画

(Ⅰ) 総務常任委員会

<総務常任委員会>

1 会議関係(県スポーツ協会関係)

(1) 評議員会

- 定時(6月11日:熊本市/評議員)
 - 令和2年度事業・決算報告について
- 臨時(3月11日:熊本市/評議員)
 - 熊本県民体育祭について

(2) 理事会

- 第1回(5月27日:熊本市/理事・監事)
 - 令和2年度事業・決算報告について
 - 国民体育大会本部役員編成について
 - 県スポーツ協会表彰について
 - 令和4年度第42回九州ブロック大会について
- 第2回(12月2日:熊本市/理事・監事)
 - 臨時評議員会の開催について
 - スポーツ振興くじ助成事業について
- 第3回(2月24日:熊本市/理事・監事)
 - 令和4年度事業計画・予算について
 - 熊本県民体育祭について

(3) 役員会

- 第1回(5月20日:熊本市/常務理事以上の理事)
- 第2回(7月16日:熊本市/常務理事以上の理事)
- 第3回(11月25日:熊本市/常務理事以上の理事)
- 第4回(12月17日:熊本市/常務理事以上の理事)
 - *理事会等の審議事項について(第1回開催時には、財務特別委員会企画の内容を含む)

(4) 常任委員会

- 第1回(4月28日:熊本市/総務常任委員会委員)
 - 令和2年度総務関係事業・決算報告について
- 第2回(2月10日:熊本市/総務常任委員会委員)
 - 令和4年度事業計画・予算について

(5) 定期監査(5月13日:県民総合運動公園陸上競技場会議室・監事)

- *県スポーツ協会監事による令和2年度事業・会計監査

2 会議関係(日本スポーツ協会関係)

- (1) 定時評議員会(6月18日:東京都/本会選出評議員)
 - 令和2年度事業・決算報告について
- (2) 加盟団体代表者会議(3月18日:東京都/本会役職員)
 - 令和4年度事業計画・予算について
 - 各種事業の説明
- (3) 都道府県団体連絡会議(3月18日:東京都/本会代表役員)
 - 国民体育大会の今後の取組について
- (4) 加盟団体経営フォーラム(3月17日~18日:東京都/本会役職員)
 - 法人運営について(ガバナンス・インテグリティ・経営力及び収益力強化)

3 会議関係(都道府県体育・スポーツ協会連合会関係)

- (1) 総会(3月17日:東京都/専務理事)
 - 令和3年度事業及び会計報告について
 - 令和4年度事業計画及び予算について
- (2) 西地区事務局長研修会(11月18日~19日:鳥取県/事務局長)
 - 西地区(17県)事務局長による研修会
- (3) 事務局職員研修会(12月1日~3日:栃木県/事務局員)
 - 17都道府県体育協会職員による研修会

4 会議関係(九州地区体育・スポーツ協会連絡協議会関係)

- (1) 連絡協議会
第1回(4月8日~9日:福岡県/専務理事・事務局長他)
 - 令和2年度報告(事業・決算)及び令和3年度計画(事業・予算)
第2回(11月11日~12日:熊本県/専務理事・事務局長他)
 - 九州ブロック大会報告及び令和4年度計画

5 事業関係

- (1) 加盟団体長・理事長会(1月8日:熊本市/加盟団体長・理事長)
 - 本会の事業推進に向けた組織的な連携強化と相互理解を図り、スポーツに対する意識を高めるとともに、更なる連帯感を深めるため実施
- (2) 国際・全国スポーツ大会優勝祝賀会(1月8日:熊本市/優勝者、加盟団体等)
 - 令和3年(1月~12月)に各種全国・国際大会で優勝した個人・団体の栄誉を称え、加盟団体と共に祝福するために実施
- (3) 広報活動
 - 県民のスポーツに対する意識の高揚を図るため、スポーツ情報や本会の活動状況を広く発信するため、会報誌の発行を行う
 - ①会報誌:年2回(12月・3月)各2000部発行
 - ②ホームページ:年4回(6月・9月・12月・3月)更新
 - *情報提供欄は随時更新
- (4) 親善ゴルフ大会
 - 加盟団体並びに関係団体との融和を図り、更なる親睦を深め、本県のスポーツ振興に資することを目的に開催(2回)
 - ①県スポーツ協会親善ゴルフ大会(11月24日:会場未定/県ス協役員、協賛団体・加盟団体)
 - ②会長杯ゴルフ大会(2月5日:会場未定/県ス協役員、協賛団体・加盟団体)

(Ⅱ) 地域スポーツ常任委員会

<県民スポーツ専門委員会>

1 会議関係(熊本県スポーツ協会関係)

(1) 専門委員会

- 第1回(6月30日:熊本市/県民スポーツ専門委員)
 - 日本スポーツ協会スポーツ指導者資格の説明について
 - 県民体育祭について
- 第2回(11月9日:熊本市/県民スポーツ専門委員、地域スポーツ専門委員)※合同会
 - 日本スポーツ協会スポーツ指導者資格の説明について
 - 県民体育祭について
- 第3回(2月7日:熊本市/地域スポーツ常任委員)
 - 令和4年度事業計画・予算について

2 事業関係(県民体育祭関係:第76回(八代大会))

- (1) 第1回都府代表者会(8月10日:熊本市/各都市代表者、関係競技団体)
 - 参加資格の確認
 - 組合せ抽選会実施
- (2) 第2回都府代表者会(8月30日:熊本市/各都市代表者、関係競技団体)
 - 選手変更の確認について
- (3) 第76回県民体育祭八代大会実行委員会総会(4月・11月予定)
- (4) 第77回県民体育祭(水俣草北大会)開催地準備委員会総会(9月予定)

3 会議関係(日本スポーツ協会関係)

- (1) 都道府県事務担当会(4月予定:東京都/事務局指導者養成担当者)
 - 令和3年度事業概要及び各種手続きの説明
- (2) 全国スポーツ指導者連絡会議(12月予定:東京都/本県代表委員)
 - 各都道府県及び中央競技団体の指導者養成に関する代表者が一堂に会し、各会議の報告や今後の取り組みについて協議
 - 事務局からの伝達事項及び指導者養成について協議

4 事業関係

- (1) 第76回熊本県民体育祭(9月11日~12日:八代市・八代郡水川町)
 - 参加人員:加盟地域体育協会の監督選手・役員総数約8,000名(採点競技)
 - 競技:採点競技24競技、特別競技9競技 *特別競技については実施形態確認中
 - 趣旨:広く県民にスポーツを普及し、県民の健康増進とスポーツ精神の高揚を図り、より豊かな県民生活の進展に寄与
- (2) 日本スポーツマスターズ2021大会(9月18日~21日:岡山県)
 - 参加人員:加盟地域体育協会の監督選手・役員総数約8,000名(採点競技)
 - 競技:採点競技24競技、特別競技9競技 *特別競技については実施形態確認中
 - 趣旨:広く県民にスポーツを普及し、県民の健康増進とスポーツ精神の高揚を図り、より豊かな県民生活の進展に寄与

(3) 日中成人スポーツ交流事業 <スポーツ庁国庫補助事業>令和2・3年度実施

- 日本と中国の日中国交正常化35周年を記念し、2007年を「日中文化・スポーツ交流年」とし、これを契機として、両国における生涯スポーツに親しむ成人を対象としたスポーツ交流を実施することにより、日中国間の親善と友好をさらに深めると共に両国のスポーツ振興を図る。(令和2年度はコロナ禍により中止)
- 交流方式:日中国間の成人団員(30歳~65歳)が互いの国を訪問し、様々な交流を行う相互交流方式
- 主催:公益財団法人日本スポーツ協会
- 共催:公益財団法人熊本県スポーツ協会及び関係中央競技団体
- 期日:派遣/12月<現在JSPPO調整中>:中国四川省受入/11月26日~30日:熊本県
- 実施競技:テニス・バスケットボール・卓球・バドミントン(4競技:日中選手団各61人)

(4) 熊本県スポーツ指導者研修会(6月13日:熊本市予定)

- 参加者:日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格保有者140名
- 趣旨:公認スポーツ指導者の更なる資質向上と活動促進のため、指導者のニーズに応じた講演または研究発表、新たな課題説明や指導者相互の情報交換のための研究協議等による研修会を開催する。
- (5) 公認スポーツ指導者全国研修会(12月<現在JSPPO調整中>:東京都)
 - 参加者:本県からは指導者協会代表及び指導者養成担当者出席
 - 内容:特別講演、シンポジウム、ワークショップ等
 - 趣旨:スポーツ指導者としての研鑽を深めるとともに、全国の指導者と公認スポーツ指導者の関する情報を共有・交換する。

(6) 日本スポーツ協会公認コーチI養成講習会

- 趣旨:地域におけるスポーツグループやサークル等において、上位資格者を補正する者として、基礎的な知識・技能に基づき、安全で効果的な活動を提供するための指導者を養成する。専門科目と共通科目の各カリキュラム修了者に資格が付与
- 受講条件:原則、満18歳以上の者。<競技団体が定める条件あり>
- ①専門科目:期日:開催する競技団体の設定による。
- ②開催形態:競技団体による集合講習会/講習時間:20時間以上
- ③参加料:14,000円(別途必要経費がかかる場合がある。)
- ④実施団体:委託/ハンドボール 独自/ソフトボール・バレーボール
- ⑤共通科目
- ⑥開催時期:当該年度の6月から翌年3月
- ⑦開催形態:NHK学園による通信講座を各自受講/35時間以上・参加料:19,800円

(7) 日本スポーツ協会公認コーチングアシスタント養成講座(共通科目I)

- 趣旨:地域におけるスポーツグループやサークル等において、上位資格者を補正する者として、基礎的な知識・技能に基づき、安全で効果的な活動を提供するための指導者を養成する。専門科目と共通科目の各カリキュラム修了者に資格が付与
- 受講条件:原則、満18歳以上の者。<競技団体が定める条件あり>
- ①専門科目:期日:開催する競技団体の設定による。
- ②開催形態:競技団体による集合講習会/講習時間:20時間以上
- ③参加料:14,000円(別途必要経費がかかる場合がある。)
- ④実施団体:委託/ハンドボール 独自/ソフトボール・バレーボール
- ⑤共通科目
- ⑥開催時期:当該年度の6月から翌年3月
- ⑦開催形態:NHK学園による通信講座を各自受講/35時間以上・参加料:19,800円

(8) 地域スポーツ普及事業(助成)

- 市町村における地域住民のスポーツ普及活動の事業に対し、その経費の一部を助成し都市体育協会に寄与する。
- 助成対象団体:本会加盟の20地域体育・スポーツ協会
- (9) スポーツ教室開設事業/アクティブチャイルドプログラム(ACP)普及事業

- 子どもたちの体力づくりやコミュニケーション能力の向上などを目的に、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団と連携し、県内の地域体育・スポーツ協会並びに小学校等にACP普及講師を派遣しスポーツ教室を開設する。(県内12教室を対象の予定)

(10) 熊本県スポーツ指導者協議会活動推進事業(助成)

- 県内の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者を会員として組織する「熊本県スポーツ指導者協議会」の活動を支援することにより、公認スポーツ指導者相互の連携と社会認知度及び価値の向上を図り、より安全で充足されたスポーツ指導ができる指導者を養成するために熊本県スポーツ指導者協議会の活動に対し助成を行う。
- 助成対象団体:熊本県スポーツ指導者協議会

(11) 加盟団体組織強化事業(助成)

- 免税・100円募金還元事業(協力加盟団体へ100円募金金額及び免税募金半額を還元)
- 国体実施競技外助成事業(9競技団体助成 *高等学校野球含む)

5 表彰関係

(1) 熊本県スポーツ協会表彰事業

- 本県のスポーツ振興に顕著な功績があった個人並びに団体の栄誉を称え、スポーツ功労者、スポーツ優秀者、スポーツ優良団体の表彰式を実施する。
- 表彰日時:9月11日(第76回熊本県民体育祭総合開会式時に実施)

(2) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰事業<候補者推薦及び旅費補助>

- 永年にわたる公認スポーツ指導者として、顕著な功績があった者を表彰し、その功に報いるとともに、今後の公認スポーツ指導者制度の一層の発展に資する。
- 被表彰者旅費補助:表彰状授与式に出席する被表彰者に対し旅費を補助
- 表彰日時:12月<JSPPO日程調整中>(東京都)

(3) 2021年度ミスノスポーツメントール賞<候補者推薦>

- 優秀なスポーツ指導者等を顕彰することにより、その功に報いるとともに他の指導者の励みとし、わが国選手強化の一層の発展、スポーツ振興の充実に資することを目的とする。
- 表彰日時:2022年4月予定

<総合型地域スポーツクラブ専門委員会>

1 会議関係

(1) 専門委員会

- 第1回(7月9日:熊本市/総合型地域スポーツクラブ専門委員会委員)
 - 令和2年度事業報告・決算について
 - 総合型地域スポーツクラブの育成支援について
- 第2回(11月5日:熊本市/総合型地域スポーツクラブ専門委員会委員)
 - 総合型地域スポーツクラブの育成支援について
 - 第3回(2月7日:熊本市/総合型地域スポーツクラブ専門委員会委員)
 - 令和4年度事業計画・予算について
 - 総合型地域スポーツクラブの育成支援について

(2) 中間支援組織整備に係る準備会議(仮称)※新規事業

- 第1回(7月9日:熊本市/準備会議委員)
- 第2回(11月5日:熊本市/準備会議委員)
- 第3回(2月7日:熊本市/準備会議委員)
 - 中間支援組織の整備について
 - 総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度について

(3) アドバイザーミーティング

- 第1回(5月<JSPPO日程調整中>:オンライン/アドバイザー)
 - 日本スポーツ協会からの情報提供、日本スポーツ振興センターからの情報提供
- 第2回(6月<JSPPO日程調整中>:東京都/アドバイザー)
 - アドバイザーの業務確認及び資質向上に関する会議

2 事業関係

(1) ヒアリング活動

- 総合型地域スポーツクラブの普及・啓発のため、総合型クラブが未設置である「未育成町村」への訪問を行い、地域スポーツの振興に係る状況の把握やクラブ創設に係る情報提供を行う。
- 総合型クラブが活動している「既設置市町村」へは、クラブとの連携状況や課題の把握を行うため訪問し、情報提供並びに情報収集を行う。併せて人口に対して設置数が少ない市町村には更なる増設を求める。
- 設立準備団体、活動クラブに訪問し、クラブの経営状況や課題の把握を行い、安定・継続的なクラブ運営ができるよう指導・助言を行う。
 - 未育成町村訪問 錦町/南小国町/五木村 <2町1村:計9回>
 - 既設置市町村訪問 適時訪問
 - 設立準備団体 天草市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会 <2回> 西原倶楽部設立準備委員会 <2回>
 - 検討団体 倉岳クラブ<2回> 熊本市画図校区 <4回>
 - 活動クラブ訪問 県内69クラブ <内18クラブ程度>

(2) 地域スポーツマネジメント講習会(7月3日~4日:熊本市/30名程度)

- 総合型地域スポーツクラブに関する知識を深め、「クラブマネジャー」として適切なクラブ運営のスキルを身に付けることを目的とし、講習会を実施する。なお、本講習会は日本スポーツ協会公認アシスタントマネジャー資格の専門科目となる。

(3) 地域スポーツ指導者研修会(2月6日:会場未定)

- 県教育委員会の委託事業で各生涯スポーツ行政担当者やスポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ指導者、スポーツ少年団指導者等、地域スポーツの振興に携わるうえで指導者としての資質向上、指導者の育成・養成を目的として研修会を開催する。

(4) 「地域スポーツ振興」講師等派遣事業

- スポーツ振興くじ助成事業を活用し総合型クラブ並びに設立準備団体及び本会加盟団体を対象に、県内アスリートやスポーツドクター、スポーツトレーナー、公認資格保有指導者等を講師として派遣し、実技指導や研修・講義を行い、各団体が行う事業の活性化と支援体制の充実に資する。
- 派遣予定:県内10団体

(5) 熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会活動推進事業(助成)

- 「総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」の活動支援を行うことにより、県内総合型クラブの活動支援及び情報共有並びにクラブ間の相互の連携を図り、スポーツ活動の推進を図る。

(6) スポーツ指導者等と地域のマッチング・情報提供事業

- 各地域や総合型クラブ等から研修会等の講師として要望があったスポーツ指導者やスポーツ有識者について、本会加盟団体や本会役員と連携し、マッチング・情報提供を積極的に行う。

3 県内クラブ交流事業

- 県教育委員会委託事業を活用して総合型地域スポーツクラブの啓発を目的に熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会と連携・協力し、県内クラブ交流事業を行う。

(1) 実行委員会

- 大会の円滑な開催に向けて、熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会関係者で3回程度(8月・10月・12月)の会議を行う。

(2) 交流事業(11月予定:会場未定/県内総合型地域スポーツクラブ)

- 県内総合型地域スポーツクラブの活動を県内に広く周知するとともに、総合型クラブの更なる普及と互いの連携を促進するため、スポーツイベントを行う。

4 SC全国ネットワーク関連

- 総合型地域スポーツクラブ全国協議会(SC全国ネットワーク)とは、総合型クラブの円滑な運営や更なる定着・発展を目的とした全国組織。ネットワークアクションは、SC全国ネットワークと日本スポーツ協会が主催となり、全国9ブロックで情報共有・課題解決等を目的に開催。

(1) 総会(2月予定:東京都/代表委員)

(2) 九州ブロックネットワークアクション2021実行委員会(7月予定:佐賀県)

(3)九州ブロックネットワークアクション2021(11月27日～28日:佐賀県)

(Ⅲ) 競技スポーツ常任委員会

1 競技スポーツ常任委員会

第1回(4月26日:熊本市/競技スポーツ常任委員)

令和2年度事業・決算報告について

第2回(2月8日:熊本市/競技スポーツ常任委員)

令和4年度事業計画・予算について

<強化専門委員会>

1 会議関係

(1) 専門委員会

第1回(10月26日:熊本市/強化専門委員会委員)

- 国民体育大会の競技成績等について

・競技力対策研修会について

第2回(2月8日:熊本市/強化専門委員会委員)※スポーツ医科学専門委員会と合同会、常任委員会同日

- 令和4年度「国体関連」について

- 令和4年度国体目標順位について

(2) 競技力向上対策事業説明会(4月15日:熊本県立総合体育館会議室/43競技団体)

- 基本方針・実施要項及び各種事業要領について
- 事業費の配分について
- 助成金交付要項について
- スポーツ医科学対策事業並びに熊本県スポーツ協会自主事業について

2 事業関係(競技スポーツ振興事業関係)

(1) 競技力向上対策事業(競技スポーツ振興補助事業)

- 国民体育大会をはじめとした各種大会に向けた選手強化と各競技の底辺拡大・強化を図ることを目的に各種事業を通じ、本県の競技力向上と競技スポーツの普及・振興に資する。

①選手強化事業

- ア 国体強化事業(一般強化事業):当該年度の九州ブロック対策や次年度における国体に向けた選手強化として、全競技団体の国体候補選手の強化を図る。
- イ 練習環境整備事業:日常の強化練習において、特に需用費・使用料・備品購入費等が必要な競技に対して助成する。

②一貫指導体制整備事業:有望選手の早期発掘と発達段階に応じた一貫指導体制を推進する。

ア ジュニア育成強化事業

- ・ジュニア育成事業(小・中学生)※タレント発掘・普及事業含む

・ジュニア強化事業(中体連・高体連)

- イ 指導体制強化事業:各競技の強化担当者、中央競技連対等の講習会や全国のトップレベルの企業・大学等に派遣し、指導指針の向上を図り、更なる競技力向上を目指すとともに、成年選手が所属する企業・大学との連携を図る。

- ・強化指導者研修派遣事業(中央研修、企業・大学連携)

③トータルサポート事業:競技力分析の情報収集及び視察奨励等の事業を行う。

ア 競技力向上対策研修会(11月3日:熊本市/国民体育大会関係競技団体)

- ・国体強化の指導者等を対象に実施し、資質向上を図る。

- ・講話及び成績報告及び分析

イ 調査研究・広報事業

- ・第41回九州ブロック大会及び第76回・第77回国民体育大会の出場競技奨励

- ・競技力分析資料並びに事業説明資料等作成

(2) 競技力向上対策事業に係る競技団体ヒアリングの実施

- 対象団体:国民体育大会の正式競技として実施される関係41競技団体及び中学校体育連盟・高等学校体育連盟

期間:11月中旬～翌年2月末日 ※上記期間中、各団体1時間程度個別に実施

- 実施者:本会及び県教育庁県立学校教育局体育保健課競技スポーツ係

会場:県民総合運動公園陸上競技場会議室

(3) 子どものスポーツ環境整備支援事業 <県補助事業>

- 子どもたちのスポーツに対する興味関心や意識を高め、各競技の普及とジュニア選手の育成を図る。また、高い指導力と専門性を持つ競技団体が、地域と連携しながらスポーツ教室や体験合宿等を行うことで、地域活性化を図るとともに、子どもの可能性を引き出すきっかけづくりを行う。

(4) 優秀競技者・指導者育成支援事業 <県補助事業>

- 国内外におけるトップレベルの選手や指導者及び、スポーツ医科学に精通した講師等を招聘し、研修会や講習会を実施し、選手育成や指導者のスキルアップを目指すための整備を行う。

(5) くまもとワールドアスリート事業 <県委託事業>

- 熊本県が選考したオリンピックをはじめとする国際スポーツ大会で活躍する資質を持ったアスリートを育成・強化することで、競技力の向上と継続的なトップアスリート輩出の好循環を構築し、本県のスポーツ振興を図る。

- ①強化事業:各競技団体が、指定選手の日常の練習や試合・合宿等において、特に必要費・備品購入費・使用料及び賃借料等が必要な場合に整備を行うための補助を行う。

- ②パーソナルトレーナー配置事業:選手のケアや医学的サポートを行うためのトレーナー等の補助を行うと

ともに、希望があればトレーナー部会と連携する。また、専門的な観点からトレーニング指導並びにコンディショニング対策ができる環境を必要に応じて実施する。

- ③メディカルチェック事業:メディカルチェックを実施し、選手自身が健康状態を把握するため、結果をフィードバックするとともに、必要に応じて医学的サポートを促す。また、スポーツ医学分野(栄養面、心理面、アンチドーピング等)についてのフォローアップを実施する。

3 事業関係(熊本県スポーツ協会自主事業)

(1) 日韓親善スポーツ交流(忠清南道)事業 *休止

- 熊本県と大韓民国・忠清南道の姉妹提携の趣旨並びに本会と忠清南道体育會との申し合わせに基づき、大韓民国で開催する日韓親善スポーツ交流大会に本県選手団を派遣し、スポーツを通して両国の友好親善を深めるとともに、本県の競技力向上を図る。

※大韓民国忠清南道と協議し、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度は休止

4 国体派遣関係

- スポーツ基本法に明記されている国民体育大会並びにその予選会となる九州ブロック大会に大会実施要項等の規則に基づき、熊本県選手団を編成し派遣する。

(1) 第41回九州ブロック大会(福岡大会)

- ①夏季大会(5月23日～7月25日:福岡県福岡市他)
 - ・5月23日:カヌー(スラローム・ワイルドウォーター)
 - ・7月9日～11日:水泳(アーティスティックスイミング)、テニス、ボート、体操(トランポリン、新体操)、馬術、ボウリング
 - ・7月23日～25日:水泳(水球)、体操(競技)、カヌー(スプリント)、空手道、ゴルフ

②秋季大会(8月7日～29日:福岡県福岡市他)

- ・8月7日～9日:サッカー
- ・8月20日～24日:ホッケー、バレーボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、軟式野球、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、スポーツクライミング、なぎなた
- ・8月27日～29日:ボクシング、バスケットボール、卓球、フェンシング、ラグビーフットボール、アーチェリー

③冬季大会(12月4日～5日:福岡県福岡市)

- ・競技:アイスホッケー

(2) 第76回国民体育大会(三重とこわか国体)

①結団式(9月14日:熊本県庁)

②会期前(9月4日～20日:三重県鈴鹿市他)

③大会(9月25日～10月5日:三重県津市他)

・競技:陸上競技、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、

ボクシング、バレーボール、バスケットボール、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、クレア射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

④知事報告会(10月21日:熊本県庁)

(3) 第77回国民体育大会冬季大会

①結団式(1月18日:熊本県庁)

②スケート・アイスホッケー競技会

・スケート競技会(1月24日～1月28日:栃木県日光市)

・アイスホッケー競技会(1月26日～1月30日:栃木県日光市)

③スキー競技会(2月17日～20日:秋田県鹿角市)

5 令和4年度第42回九州ブロック大会関連

・令和4年度に本県で開催する「令和4年度国民体育大会第42回九州ブロック大会」の成功に向け円滑な準備業務を進めるため、実行委員会を設立し事務局を本会事務局内に置く。

(1) 実行委員会関連

①設立総会・第1回総会(7月16日:熊本市)

- ・会則、役員、委員、事務局規程、事業計画、予算について大会概要並びに大会日程及び会場地について

- ・常任委員会への委任事項について

- ・大会総則等について

- ・実行委員会予算について

- ②常任委員会(3月11日:熊本市)

- ・令和3年度事業・決算報告

- ・総合開会式の次第について

- ・大会本部、記録本部の設置について

- ・競技運営事業補助交付要綱及び競技別競技運営費の配分について

- ・総合プログラム、競技別プログラムについて

- ※第2回実行委員会(令和4年4月開催)に向けての協議事項

- ③会場町村・競技団体合同会議(8月30日:熊本市)

- ・説明事項:運営上の役割分担について

- ④開催競技団体ヒアリング(11月～12月予定:熊本市)

- ・競技会開催に向けた詳細打合せ

- ⑤宿泊業務委託業者説明会(7月20日:熊本市)

- ⑥宿泊業務委託業者選定委員会(8月25日:熊本市)

<スポーツ医科学専門委員会>

1 会議関係(熊本県スポーツ協会)

(1) 専門委員会

第1回(7月7日:熊本市/医科学専門委員会委員)

- ・令和2年度事業・決算報告について

- ・競技スポーツ振興事業医科学サポート事業について

第2回(10月26日:熊本市/医科学専門委員会委員)

令和3年度事業経過概要について

第3回(2月8日:熊本市/医科学専門委員会委員)※強化専門委員会と合同会、常任委員会同日

- ・令和4年度「国体関連」について

- ・令和4年度A1養成講習会推薦について

(2) トレーナー部会(5月12日:熊本市/トレーナー部会員)

- ・令和2年度事業報告・令和3年度事業計画について

- ・スポーツトレーナー等大会派遣事業について

- ・トレーナー研修会について

2 会議関係(日本スポーツ協会)

(1) 第76回国体ドクターズ・ミーティング(9月24日:三重県/専門委員長出席)

- ・広く県民の間にスポーツを普及し、また競技力の向上を図るため、特にスポーツ医・科学分野の知識・理解を深

・国民体育大会における医療・救護体制について

(2) アスレティックトレーナー連絡会議(1月予定:東京都/部会長出席)

- ・アスレティックトレーナーの連携及び活動促進・相互研修・情報交換等

- ・都道府県及び中央競技団体における活性化事例

(3) スポーツドクター代表者協議会(3月予定:東京都/専門委員長出席)

- ・公認スポーツドクターの連携を密にし、活動促進や相互研修、情報交換の促進

- ・アンチ・ドーピング活動の動向

- ・国体選手のメディカルチェックと医科学サポート

3 講習会・研修会(日本スポーツ協会等関係)

(1) 日本スポーツ協会公認スポーツドクター養成講習会

- ・熊本県医師会と連携し、関係機関等に周知受講者を推薦する。

(2) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会

- ・本会トレーナー部会員から、受講者2人を推薦する。

(3) 日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト養成講習会

- ・熊本県歯科医師会と連携し、受講者を推薦する。

(4) 日本スポーツ協会公認スポーツドクター研修会

- ・公認スポーツドクターにおける義務研修会

- ・全国3ブロック(東地区・中地区・西地区)で6月～2月に開催。その他、日本臨床スポーツ医学会・日本整形外科スポーツ医学会学術集会、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会も対象として実施。

4 事業関係(トータルサポート事業/スポーツ医科学対策事業関連)

(1) スポーツドクター活動活性化事業

- ・公益社団法人熊本県医師会が行う下記の事業に対して助成事業を実施する。

- ①各種スポーツ大会へのスポーツドクターを派遣する事業

- ②競技団体を開催する県内研修会等に、スポーツドクターを派遣する事業

- ③スポーツドクターの資質向上のため、県内研修会を開催する事業

- ④中央研修会(義務研修会を除く)にスポーツドクターを派遣する事業

(2) メディカルチェック事業

- ・国民体育大会の参加資格に「健康診断を受け、健康であることを証明された者であること」と明記されている。候補選手の疾病を早期に発見し、発病を予防することにより、国民体育大会での事故を未然に防ぐため、候補選手に対する基本健康調査(アンケート)と、その結果に基づく健康診断・メディカルチェックを実施する。

- ①基本健康調査票(アンケート形式)の配付・回収時期:競技力向上対策事業説明会(4月15日開催)で配付

- 対象:国民体育大会・九州ブロック大会参加選手及び候補選手等

- ②基本健康調査判定会の実施(6月29日:熊本市)

- ③メディカルチェックの実施(7月31日:熊本市)

- ④メディカルチェック判定会の実施(8月5日:熊本市)

- ⑤メディカルチェック総括会議の実施(10月26日:熊本市)

※第2回医科学専門委員会時に実施

(3) 医科学サポート事業

- ・スポーツ医科学の面からのサポートにより国体候補選手等のパフォーマンスの向上を図るため、メディカルスタッフ(歯科医師・デンティスト、薬剤師・ファーマシスト、心理、スポーツ栄養士、トレーナー等)によるサポートを行う。

- ①メディカルスタッフサポート事業

- ・競技団体に実施希望を調査し、競技団体が実施する強化担当者・指導者・選手・保護者を対象とした各種講習会(歯科、心理、栄養、アンチドーピング)に講師を派遣し、競技力向上を図る。(全体6回程度)

- ・国体候補選手等の栄養摂取状況等をアンケートにより調査・把握し、その結果に基づき、効果的な栄養摂取の仕方等の分析を行う。

- ②スポーツトレーナー連携事業

- ・競技団体に実施希望を調査し、国体候補選手(チーム)を対象にトレーナー部会員(アスレティックトレーナー等)を派遣し、選手のパフォーマンス向上を図る。(5競技団体各3回程度)

(4) スポーツトレーナー派遣事業

- ・国民体育大会において優秀な成績を収めるため、スポーツ医科学の知識と技術をもち、実戦できるトレーナー等を国民体育大会やブロック大会に派遣し、選手の応急処置や健康管理等のコンディショニングを図ること、より効果的な競技力の向上を図る。また、トレーナーの育成と資質の向上を目指し、研修会を実施する。

- ①九州ブロック大会(福岡県)、国民体育大会(三重県)、国体冬季大会(栃木県・秋田県)への派遣

- ・競技団体からの申請を基に内容を精査し、トレーナー部会員を派遣する

- ※10競技団体程度を予定

- ②トレーナー研修会(12月15日:熊本市/トレーナー部会会員)、本県トレーナーの資質向上及び最新の医科学知識の共有等も目的に開催する。

(5) スポーツ医科学普及事業

- ①研究紀要の編集・発行

- ・スポーツ医科学事業の内容や研究成果等を編集・冊子化し、加盟団体等へ配布する。

5 事業関係(アンチ・ドーピング教育・啓発事業関連)

(1) アンチ・ドーピング教育・啓発事業

- ・競技者支援関係者及び国体選手を対象としたアンチ・ドーピング教育・啓発活動を実施することにより、競技者が、国体や学校部活動等における薬物乱用・誤用の認識を高め、健全なスポーツ活動を推進する。

- ①ドーピング・コントロール説明会

- ・実施回数:2回(国民体育大会熊本県選手団に対して結団式等の終了後に実施)

- ②アンチ・ドーピング教育・啓発事業熊本県講習会(2月5日:熊本県薬剤師会館)

- ・対象者:県下薬剤師、スポーツドクター、トレーナー、県立学校関係者等

- ③JADA・アンチ・ドーピング加盟団体等連絡会議(年2～3回程度:東京都)

- ・新年度におけるアンチ・ドーピング規定等、留意事項の詳細説明等を実施。

6 事業関係(熊本県スポーツ協会関連)

(1) スポーツ指導者フォーラム(1月10日:熊本市)

- ・広く県民の間にスポーツを普及し、また競技力の向上を図るため、特にスポーツ医・科学分野の知識・理解を深

令和3年度 事業計画

- めるため、体育スポーツ関係者を一堂に会し研修の場とする。併せて日本スポーツ協会公認スポーツ指導者における義務研修会として実施する。
- ・内容：講演及びワークショップを実施
 - ・参加者：スポーツドクター、トレーナー、公認スポーツ指導者等
- (2) 国民体育大会ドクター・アスレティックトレーナー帯同本部役員派遣>
- ・選手の応急処置や健康管理等のコンディショニングを図り、より効果的な競技力の向上を図る。また、「ドクターズ・ミーティング」に参加し、医科学の専門的な情報を共有する。

(Ⅳ) スポーツ少年団本部委員会

1 会議関係(県内関係)

(1) 県スポーツ少年団本部委員会

- 第1回(4月27日：熊本市/県スポーツ少年団本部委員)
- ・令和2年度事業・決算報告
- 第2回(2月9日：熊本市/県スポーツ少年団本部委員)
- ・令和4年度事業計画・予算

(2) 県スポーツ少年団指導者協議会

- 第1回(6月29日：熊本市/県スポーツ少年団指導者協議会委員)
- ・スポーツ少年団の現状報告・各種方策について
- 第2回(2月9日：熊本市/県スポーツ少年団指導者協議会委員) 本部委員会と同日
- ・スポーツ少年団の現状報告・各種方策について

(3) 市町村スポーツ少年団事務担当者会

- (4月27日：熊本市/市町村スポーツ少年団・社会体育担当者等)
- ・スポーツ少年団事業説明
 - ・各種手続き業務の説明及び新システム運用等について

2 会議関係(九州ブロック)(幹事県：熊本県、開催県：沖縄県)

(1) 九州ブロックスポーツ少年団連絡協議会

- (4月予定：沖縄県・本部長・指導者協議会会長・事務担当者)

(2) 九州ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会

- (11月予定：沖縄県/指導者協議会会長・女性指導者・事務担当者)

(3) 日本スポーツ少年団九州ブロック会議

- (1月予定：沖縄県/本部長・指導者協議会会長・事務担当者)

3 会議関係(日本スポーツ少年団)

(1) 委員総会

- 第1回(6月予定：東京都/本県スポーツ少年団選出委員)
- ・令和2年度事業・決算報告
- 第2回(3月予定：東京都/本県スポーツ少年団選出委員)
- ・令和4年度事業計画・予算

(2) 常任委員会(4月・5月・11月・3月予定：東京都/本県スポーツ少年団選出委員・本部長)

- ・スポーツ少年団事業の詳細について

(3) 全国指導者協議会(6月11日～12日：東京都/指導者協議会会長)*オンライン開催

- ・第10次育成6か年計画について

(4) 全国指導者協議会運営委員会(4月・6月・9月予定：東京都/指導者協議会会長・指導者協議会事項の詳細について)

(5) 都道府県事務担当者会(6月予定：東京都/事務担当者)

- ・令和3年度各種事業の事務手続きについて

4 スポーツ交流事業

(1) 県大会

- ・本県ジュニアスポーツの活性化と団員相互の交流を促進する。また、日ごろの成果を発表する場を設けるとともに、各全国大会や九州大会の本県予選会とする。

①ソフトボール大会(6月5日・6日：県民総合運動公園ソフトボール場 他)

- ・県ソフトボール協会及び県スポーツ少年団に登録のある20チーム程度に参加募集を行う。

②軟式野球大会(6月12日・13日・19日・20日：県民総合運動公園 他)

- ・県内から各都市代表32チーム参加
- ・1位は全国大会(沖縄県)へ出場。2位以降の上位2チームが九州大会(熊本県)へ出場。

③バレーボール交流大会(7月10日～11日：山鹿市立鹿本体育館 他)

- ・県内から30チーム程度参加募集
- ・1位は全国大会(岐阜県)へ出場。2位・3位は、九州大会(福岡県)へ出場。

④剣道大会(9月予定：会場調整中)

- ・県内のスポーツ少年団登録剣道単位団に募集。
- ・小学生団体の部と中学生個人男女別を行う。
- ・各区分の1位は全国(高知県)への出場。

⑤県少林寺拳法交流大会(助成)(10月予定：会場調整中)

- ・県内15支部200名参加

⑥くまもとジュニアアスレティックトライアル(12月19日：県民総合運動公園)

- ・県内の小学生200名程度募集。走・飛・投の各記録会とアクティブチャイルドプログラムを実施。

(2) 九州大会(第41回九州ブロックスポーツ少年団競技別交流大会)

- ・団員にスポーツの喜びを経験する機会と、より伸びるための研修の場を設け、各競技別交流大会を通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団員活動の活性化を図ることを目的として実施する。

①バレーボール(開催県選択競技)(8月6日～8日：福岡県)

- ・本県出場枠：2チーム(県大会の上位入賞者から順に出場資格を与える。/参加料補助)
- ・参加総数：16チーム

②サッカー(8月6日～8日：長崎県)

- ・本県出場枠：2チーム(参加を希望する登録単位団/参加料補助)
- ・参加総数：16チーム

③ミニバスケットボール(8月27日～29日：佐賀県)

- ・本県参加枠：男女各1チーム(参加を希望する登録単位団/参加料補助)
- ・参加総数：16チーム(男子8チーム、女子8チーム)

④空手道(8月14日～15日：鹿児島県)

- ・本県参加枠：小中学生計2チーム(参加を希望する登録単位団/参加料補助)
- ・参加総数：16チーム

⑤軟式野球(8月27日～29日：熊本県)

- ・本県参加枠：2チーム(県大会の上位入賞者が出場/参加料補助)
- ・参加総数：16チーム

(3) 全国大会

- ・団員にスポーツの喜びを経験する機会とより伸びるため

の研修の場を設け、各競技を通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団員活動の活性化を図ることを目的とする。

①軟式野球交流大会(8月14日～16日：沖縄県)

- ・本県出場枠：参加枠は九州1グループの輪番制により熊本県出場。

②ホッケー交流大会(日程未定：広島県)

- ・本県参加枠：男女各1チーム(県ホッケー協会にて選考)

③剣道交流大会(3月下旬：高知県)

- ・県大会の小学生団体及び中学生男女各1名を派遣。(県大会優勝チーム・優勝者を派遣)

④バレーボール交流大会(3月27日～30日：島根県)

- ・県大会優勝チームを派遣。
- ・女子は48チーム(全都道府県)参加。

5 研修事業

(1) スポーツ少年大会

- ・各都道府県または九州各県スポーツ少年団リーダー及び指導者・団員の参加のもと集団生活を行い、スポーツ活動・文化学習活動・野外活動・交友交流活動等を通して、青少年の心身の健全育成を図るとともに、スポーツ少年団活動をもより一層促進し、地域における活動の活性化を図る。また、リーダーの育成を考慮したスポーツ交友交流大会である。

①全国スポーツ少年大会リーダーアクション2021

- ・(9月18日～20日：東京都)
- ・本県参加枠：6名参加募集(指導者1名・団員 中学生高校生5名)

②九州ブロックスポーツ少年大会(8月1日～3日：宮崎県)

- ・九州各県スポーツ少年団から参加
- ・本県参加枠：23名参加募集(指導者3名・団員 小学生4年生以上10名、中学生10名)

(2) リーダースクール

- ・スポーツ少年団の団員の参加のもと、集団生活を行い、スポーツ活動・文化学習活動等を通して、青少年の心身から育て、将来の指導者として活躍できるリーダーの養成を目指すとともに、各単位団間の交流を深め、スポーツ少年団活動の活性化を図る。

①シニア・リーダースクール(9月予定：静岡県)

- ・本県参加枠：高校生以上の団員5名
- ・参加資格：当該年度に団員登録をし、義務教育を終了した20歳未満の者。また、ジュニアリーダー資格取得者またはリーダー制度に定める活動単位取得者

②熊本県ジュニア・リーダースクール(3月19日～21日：天草市)

- ・スポーツ少年団員40名参加募集。

(3) 指導者講習会等

①スタートコーチ(スポーツ少年団)インストラクター移行研修会

- ・(10月～11月のうち1日間：福岡県) ※その他全国6会場で実施
- ・「認定育成員」資格取得者を対象に、2020年度から開催(2020年は中止)する「スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会」の講師を育成するための講習会として、日本スポーツ協会が実施。

②スタートコーチ(スポーツ少年団)インストラクター養成講習会

- ・(10月～11月のうち2日間：大阪府)
- ・都道府県スポーツ少年団本部長が推薦する者を対象に、2020年度から開催(2020年は中止)する「スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会」の講師を育成するための講習会として、日本スポーツ協会が実施。

③スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会

- ・「公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度」に基づき、単位スポーツ少年団活動における指導に係る最低限度の基礎知識を講習するため、スポーツ少年団の実技指導に携わる者を対象に実施する。

④ジュニアスポーツフォーラム(6月13日：東京都)

- ・スポーツ少年団指導者・リーダー、ジュニアスポーツにかかわる法律化・研究者、公認スポーツ指導者資格保有者等を対象に、日本スポーツ少年団が主催で開催する研修会。

(4) アクティブチャイルドプログラム関係

①幼児期からのアクティブチャイルドプログラム普及促進研修会(12月4日：菊陽町)

- ・日本スポーツ協会及び日本スポーツ少年団が文部科学省の委託事業として制作したアクティブチャイルドプログラム(発育・発達過程にある幼児期から小学生程度の児童を対象とした身体運動能力を高めるためのプログラム)を普及するための講習会として、スポーツ少年団関係者、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者、総合型地域スポーツクラブ関係者、幼稚園・保育園等の教員、教育委員会関係者等を参加対象に実施。

②幼児期からのアクティブチャイルドプログラム講師講習会(5月～2月のうち2日間 ※全国3会場)

- ・上記普及講習会の講師を育成するための講習会として日本スポーツ協会が実施。

③幼児期からのアクティブチャイルドプログラム講師講習会受講者に対するブラッシュアップ講習会(5月～2月のうち1日間 ※全国3会場)

- ・過年度に講師講習会を受講した講師を対象にブラッシュアップを目的に、日本スポーツ協会が実施。

(5) リーダー会関係

①全国リーダー連絡会(6月12日～13日：東京都)*オンライン開催

- ・本県参加枠：指導者1名、リーダー1名
- ・全国都道府県スポーツ少年団リーダーの相互研修及び情報交換を通じ、リーダーの資質向上と各都道府県リーダー会及び全国的ネットワークの充実・強化を目指す、各都道府県スポーツ少年団リーダー代表による全国会議。

②九州ブロックリーダー研究大会(10月23日～24日：大分県)

- ・本県参加枠：指導者1名・リーダー5名
- ・九州各県スポーツ少年団リーダー関係者の相互研究を通して、九州各県及び各市町村スポーツ少年団リーダーの育成・充実並びにリーダー会の設置を促進するとともに、将来の指導者としての資質の向上を目指すため、九州各県リーダー代表による研究大会を開催。

③県リーダー会総会(6月予定：熊本市/リーダー会会員)*例会は毎月1回程度実施予定。

6 国際交流事業

- ・日本スポーツ少年団と相手国の青少年スポーツ団体の主催

事業として、両国の優れた青少年および指導者の相互交流により、友好と親善を深め国際的能力を高めるとともに、両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的とする。

(1) 日独スポーツ少年団同時交流

- ①派遣(東京集結7月25日7月26日～8月5日：ドイツ各地)
- ・事前研修会(指導者・団員)5月3日～5日：東京都
- ・選手団88名。九州1グループで班を編成し、ドイツへ派遣する。

- ・16歳～24歳の団員でシニアリーダー資格を保有者又は各種事業に参加実績のある者。
- ※単年度に限り派遣人数削減、日程短縮。

②受入(全体8月10日～19日)

- ・ドイツ選手団88名を受入、グループ毎に分散し、各地方で受入プログラムを担当する。
- ※令和2年度に引き続き全体受入人数削減・日程短縮。

③九州ブロック受入は大分県担当

(2) 日独青少年指導者セミナー派遣(8月10日～24日/ドイツ：隔年で実施)

- ・派遣負担金10万円
- ・登録指導者で原則として50歳までの者。全国で募集10名。

(3) 日独スポーツ少年団指導者交流受入(10月30日～11月11日/ドイツ：隔年で実施)

- ・ドイツスポーツユースエージェント指導者7名を受入。担当は全国の輪番による。

7 日本スポーツ少年団顕彰事業

- ・永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある「市区町村スポーツ少年団」「登録指導者」「退任指導者」に対して、日本スポーツ少年団が表彰(退任指導者に対しては感謝状を贈呈)を行う。本県から3市町村と個人1名を推薦(予定)する。

8 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会(2021)の開催に向けた取り組み(日本スポーツ少年団)

- ・フェアプレー推進及び全国スポーツ少年団一斉活動などを予定。
- ・オリンピック・パラリンピックへの参画。大会セレモニー等への参加に向けた取り組み。

9 小学校運動部活動の社会体育移行に伴う取り組み

- ・関係団体(特に市町村教育委員会、市町村小学校体育連盟等)にスポーツ少年団の説明・周知活動を行う。

(Ⅴ) 財務特別委員会

1 会議関係

(1) 財務特別委員会

- 第1回(7月16日：熊本市/財務特別委員会委員)
- ・令和2年度事業、令和3年度計画について

第2回(12月2日：熊本市/財務特別委員会委員)

- ・令和3年度経過報告について ※県土協理事と合同で懇親会実施

(2) 企画会(5月20日：熊本市/第1回役員会での内容に含む)

- ・令和2年度報告、令和3年度計画及び協賛企業等周知方法の検討

2 事業関係

(1) 100円募金活動

- ・広く県民に県スポーツ協会の事業等を周知し、スポーツに対する意識の高揚を図るため実施
- ① 街頭募金活動(1月8日：熊本市街)

② 各加盟団体での取り組み(各団体が実施する大会や会議開催時に実施)

(2) 企業・団体等訪問

- ・過年度実績を基に関係企業・団体等(150か所)を訪問し、県スポーツ協会の事業並びに免税募金依頼等の周知活動を実施

(3) 免税募金企業・団体の周知事業

- ・各種広報事業等を活用し、本会会報誌をはじめとする本会が作成する印刷物に、広く各種募金活動の内容及び協力をいただいた企業・団体名紹介を実施

① 会報誌：2000部作成。加盟団体並びに行政機関及び学校(小・中・高校)等配付

- ② ホームページ：免税募金に関するページを開設し、事業内容及び協賛企業・団体名を紹介

- ③ リーフレット：1000部作成。関係団体等へ広く配布。本会の組織概要や活動内容並びに協賛企業・団体名の紹介等、県土協の活動を広く周知するために作成

- ④ その他：本会が主催する各種研修会等の印刷物(パンフレット)に本会の活動を支える協賛企業・団体名の紹介

(4) 協賛社(団体)ロゴマーク活用事業

- ・10万円以上の寄付社(団体)を対象に、本県のスポーツ振興や本会の活動を支える支援企業・団体として、社ロゴマークを本会の広報媒体(会報等印刷物・ホームページ(ホームページ)等)を活用し広く周知する。

(5) 財務特別委員会委員・協力企業・団体等の国民体育大会帯同本部役員派遣>

- ・本会の活動を広く認識するとともに、本県のスポーツ振興に資するため国民体育大会の本部役員として帯同を依頼

(6) 表彰事業「財務特別功労賞」

- <平成23年度から5年毎に実施>
- ・永年にわたり、本県のスポーツ振興や本会の活動を支えていたたりている支援企業・団体を対象に実施。

- ※過去5か年(平成28年度～令和2年度)で100万円以上の寄付団体を予定



令和4年度スポーツ安全保険 主な改定に関するお知らせ

スポーツ安全保険は、団体・グループ活動(社会教育活動)に安心をお届けする補償制度です。

スポーツ活動・文化活動・ボランティア活動・地域活動を行う4名以上の団体でご加入いただけます。

加入団体での活動中および団体活動への往復中の事故を補償し、傷害保険・賠償責任保険・突然死葬祭費用保険がセットになった保険です。

さて、団体の組織や活動の形態が多様化してきており、補償に対する要望が増えていることを踏まえ、より一層団体の活動実態に即した保険制度にするために令和4年度スポーツ安全保険(保険責任期間:令和4年4月1日午前0時~令和5年3月31日午後12時)について、以下の通り改定を実施いたします。特に、インターネット加入限定の改定が中心となりますので、ご加入の際はインターネット加入申込みシステム「スポあんネット」をご利用いただきますようお願い申し上げます。

今後とも皆様のご期待にお応えすべくスポーツ安全保険の健全な運営に努めていく所存でございますので、引き続きスポーツ安全保険をお引き立てくださいますようお願い申し上げます。

主な改定内容

1. 加入区分、掛金に関する改定 令和4年度から

(下表AW・CW・BW区分の補償額は上段は団体活動中、下段は個人活動中)

加入対象	加入区分	年間掛金	補償対象	障害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	入院 (日額)	通院 (日額)		
子ども	A1	800円	スポーツ活動・文化活動・ボランティア活動・地域活動	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償合算1事故5億円 ただし、対人賠償は1人1億円	180万円
	AW	1,450円	上記団体活動に加え、個人活動も対象	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	対人・対物賠償合算1事故5億500万円 ただし、対人賠償は1人1億500万円	180万円
				100万円	150万円	1,000円	500円	対人・対物賠償合算1事故500万円	対象外
大人	C	1,850円	スポーツ活動(指導・審判を含む)	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償合算1事故5億円 ただし、対人賠償は1人1億円	180万円
	CW	4,850円	上記団体活動に加え、個人活動も対象	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	対人・対物賠償合算1事故5億500万円 ただし、対人賠償は1人1億500万円	180万円
				100万円	150万円	1,000円	500円	対人・対物賠償合算1事故500万円	対象外
	B	1,200円	スポーツ活動(指導・審判を含む)	600万円	900万円	1,800円	1,000円	対人・対物賠償合算1事故5億円 ただし、対人賠償は1人1億円	180万円
	BW	5,000円	上記団体活動に加え、個人活動も対象	700万円	1,050万円	2,800円	1,500円	対人・対物賠償合算1事故5億500万円 ただし、対人賠償は1人1億500万円	180万円
				100万円	150万円	1,000円	500円	対人・対物賠償合算1事故500万円	対象外
	A2	800円	文化活動・ボランティア活動・地域活動・準備・片付け・応援・団体員の送迎	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償合算1事故5億円 ただし、対人賠償は1人1億円	180万円
全年齢	D	11,000円	危険度の高いスポーツ活動(指導・審判を含む)	500万円	750万円	1,800円	1,000円	対人・対物賠償合算1事故5億円 ただし、対人賠償は1人1億円	180万円

2. 加入時年齢基準日変更

・被保険者の年齢は、新規加入、中途加入とも4月1日時点の年齢となります。

お問い合わせ先

公益財団法人スポーツ安全協会熊本県支部 TEL 096-213-9015 (受付時間 平日 8:30 ~17:00)



総合型地域 スポーツクラブ紹介

本会では、県内の総合型地域スポーツクラブ(以下、総合型クラブと称する)の普及・育成、支援を行っています。

総合型クラブは、スポーツや文化種目を(多種目)、子どもから高齢者まで(多世代)、それぞれの志向に合わせて(多志向)活動できる仕組みであり、会費・参加費等により(受益者負担)、地域の方々の主体的な運営・経営(自主運営)により活動しています。

第2期スポーツ基本計画に掲載されているとおり、総合型クラブには「地域課題の解決」に寄与する公益的な機能を期待されており、令和4年度からは、「総合型クラブの登録・認証制度」の運用も開始される予定です。

そこで、総合型クラブのことをより多くの方々に知っていただくため、県内の総合型クラブの特色ある取組を紹介します。

県北エリア

クラブなごみ

～放課後の受け皿～

インタビュー:事務局 片山 浩子

■ プログラム概要

クラブなごみは、玉名郡和水町で、社会体育移行の受け皿として活動しているクラブです。町内外問わず小学生を対象に、ニュースポーツ、船山太鼓、少年野球、バドミントンと4つの教室を開設しています。また、活動拠点は町の社会教育施設及び社会体育施設を利用し、1週間に1～4回のペースで活動しています。

参加者数 男子46人、女子26人、計72人

参加学年 小学1～6年生

活動日時 火～日曜日、9:00～21:00の間で1時間30分～3時間(教室によって異なる)

指導者数 約20人

参加費用 入会費無料/年会費3,000円/月500～2,000円(教室によって異なる)

■ 活動の成果(よいこと)

- 各教室、技術面だけでなく、「挨拶」、「規律」、「感謝」の大切さも指導しています。少年野球においては「勝負に勝つ喜び」も伝えるよう指導しています。
- 小学1～6年生と年代の違う生徒と一緒にクラブに参加することで、協調性を学ぶことができ、上級生については、責任感が身につきました。
- 船山太鼓については、学校の授業が終わってから、みんなで練習会場へ歩いて向かい、練習開始時刻まで宿題の時間にしており、保護者から喜ばれています。また、活動の中で、地域の伝統文化に対する知識や理解が深まり、伝統



文化の継承や祭りなど、まちおこしに役立っています。

・少年野球については、年に数回、ボランティア活動(ゴミ拾い)を実施し、地域の皆様から大変喜ばれています。

■ 今後の展望

コロナ禍で活動が厳しい状況ですが、感染対策を徹底し、各教室無料体験会など開催し、スポーツに触れる機会を増やしたいです。また、船山太鼓については、町内外問わず、イベント行事で発表の場を設け、子どもたちのやる気と自信を高めるとともに、より多くの人に知っていただき、会員増加につなげたいです。

■ その他(クラブPR)

指導者確保や送迎等、様々な課題はありますが、一つ一つ向き合いながら、会員の皆様に寄り添い、魅力あるクラブを目指していきたいと思っています。



クラブ情報

和水町「クラブなごみ」 設立年月日:平成16年10月11日

クラブ理念:日常生活の中で自発的に運動やスポーツを楽しむ機会を提供するとともに、会員相互の親睦を図り、ひいては広く和水町におけるスポーツ振興と地域社会における健康で明るく豊かな生活実現に貢献する。

事務局:〒861-0913 玉名郡和水町板楠76番地
(三加和公民館内)
TEL:0968-34-3047 FAX:0968-34-2033
mail: syakai@town.nagomi.lg.jp

やまが総合スポーツクラブ

～学校との連携～

インタビュー:会長 戸澤 秀信

■ クラブ概要

やまが総合スポーツクラブは、山鹿市の幼児から高齢者までスポーツを通じた健康づくり、地域のコミュニティづくりを目指し、ひとつの種目だけでなく、いくつもの種目を楽しむことができ、年齢・趣味・技術レベル等に応じて参加できるスポーツクラブです。

会員数約300人で、山鹿市総合体育館を中心に、各地域の施設や学校施設を利用しています。

■ 活動の成果

特に、ハンドボール、陸上、卓球、バスケットボール、バレーボール、バドミントン等の種目が盛んに活動しています。

ハンドボールについては、日本でも活躍中のオムロンハンドボールチームがあります。オムロンにはオリンピック選手や全日本選手も在籍しており、本クラブのハンドボールの指導者として、子どもや青年の育成にも関わっています。

■ 今後の展望

現在、山鹿市における健康づくりの推進やスポーツ推進の活動にも関わっています。

世代を超えたスポーツの交流と自分の趣味や体力に合わせて気軽にスポーツに楽しめるクラブを目指していきたいと思っています。

■ その他(クラブPR)

いつでも、どこでも、だれもが、生涯にわたり楽しめ、スポーツによる地域づくりと子どもたちの健全育成に努めていきたいと思っています。



クラブ情報

山鹿市「やまが総合スポーツクラブ」
設立年月日:平成16年10月30日
クラブ理念:いつでも、どこでも、だれもが、多種目のスポーツ活動に参加できるクラブ

事務局:〒861-0511 山鹿市熊入町416 山鹿市総合体育館内
TEL:0968-43-0093 FAX:0968-43-0091
mail: yamaga.sports.club@bz01.plala.or.jp

中央エリア

川尻スポーツクラブ

～地域と連携したスポーツの推進～

インタビュー:事務局長 井上 正文

■ クラブ概要

川尻スポーツクラブは、平成16年から2年間、日本体育協会の「総合型地域スポーツクラブ育成支援指定委託事業」を受けて、平成18年4月に設立しました。

大人の活動種目は、ヨガ教室やバドミントン等7種目、子どもの活動種目は、サッカーや馬術など7種目です。

現在の会員数は197名(令和3年11月15日)で、中学生以下が5割強、60歳以上が2割となっています。また、75歳以上の方は、参加しやすいように会費を無料にしています。ただ、20～50歳代の方が少ないのもっと参加できるような仕組みが必要と感じています。一方で、隣接する「くまもと城南スポーツクラブ」とコラボし、どちらかの会員であれば相互のスポーツクラブで活動ができるようにしています。

■ 高校馬術部との連携

令和2年11月28日に熊本県立熊本農業高等学校馬術競技場で、初心者を対象にした小中学生の体験乗馬を実施し、保護者も含めて60数名の参加がありました。これを機に川尻スポーツクラブの部としても位置づけ、高校の馬術部の皆さんの指導を受けながら、現在十数名の小中学生が平日の放課後や土曜日、日曜日にも活動を行っています。



■ 部活動との連携

小学校部活動の見直しが進められる中、川尻スポーツクラブでも令和3年7月から川尻小学校バレーボール部を受け入れ活動を続けています。これからも、他の部活動も要望があれば積極的に受け入れをしたいと思います。ただ、活動時間や指導者の確保などの課題もありますので、学校と保護者と一緒に考えていきたいと思っています。

■ 今後の展望

地域のスポーツ活動だけではなく、小中学校の部活動や地域の健康活動等にも目を向けながら、クラブの理念に沿い、スポーツ等を通じ世代を超えた会員相互の親睦を図るとともに地域社会の連帯及び明るく豊かな生活の実現を目指していきます。



クラブ情報

熊本市南区「川尻スポーツクラブ」 設立年月日:平成18年4月1日
クラブ理念:住民の生涯スポーツの推進、青少年の育成、健康で明るくやさしいまちづくり、

事務局:〒861-4115 熊本市南区川尻4丁目1番1号
(川尻小学校体育館内)
TEL:090-5929-6430
mail: masayoshikaho0622@gmail.com

長嶺地域スポーツクラブ

～スポーツを通じた健康増進～

インタビュー:会長 山口 清

■ 活動概要

設立以来18年が経過し、現在小学校2校、中学校1校の施設を中心に活動しています。現在15種目25プログラムを実施しており、会員約300名、ビジター会員数10名で元気に楽しく活動しています。

■ 活動の成果

多くの子どもたちが元気に成長し、多くの高齢者も継続して元気にいろんな競技のプログラムを楽しんでいます。その中から東京オリンピック金メダリストも誕生しました。

■ 今後の展望

コロナの影響で休止中の小学生対象のミニバスケットボール教室、小中学生対象のバトミントン教室を状況に応じて再開していきたいと思っています。

さらにプログラムの種目等を充実させるとともに、地元の体育協会と連携してイベント等を開催したいと思っています。

■ クラブPR

初心者の方でも気軽にプログラムに参加してもらえるように、見学やお試し体験等もでき、また教室を設け、ベテランのスタッフが丁寧に基本から指導しますので、是非当クラブにお立ち寄りください。

また、毎年サッカー、剣道、卓球、ソフトバレー、グランドゴルフ、ウォーキング等の大会を実施しています。他のクラブや地域などから多くの方々に参加頂いており、今後も開催してまいります。さらに、夏祭りに出店するなど地域の方々と交流を図ってまいります。



県南エリア

サンビレッジみなまたスポーツクラブ

インタビュー:アシスタントマネジャー 中村 道寛



■ 活動概要

プログラム名:サンビレッジ陸上スクール

参加対象:小中学生(一般も可)保育園児も参加していますが要相談です

活動曜日、時間:(火)リレー強化練習 19:00~20:00

(木)全体練習 19:00~20:00

活動場所:水俣市立袋中学校グラウンド・同市立袋小中学校体育館

参加費用:年会費(幼・小中学生)3,000円 保険料:800円

新規会員:500円

■ 活動の成果

2015年から陸上スクールを開始し、当初は4人からのスタートでしたが、少しずつ会員も増え、保護者の口コミ・会員の勧誘等でR3.11/29時点では入会予定者含め55名となりました。

「足が速くなりたい」「皆と走るのが楽しい」「体力向上」と、様々な目的を持って、入会いただき、活動しています。

保育園児や1年生は100m・200mを走れずに下を向いてましたが、日々練習に取り組む中で、走る事に対して「諦めない」と力強い表情をし、完走することが出来るようになりました。現在の6年女子のリレーメンバーは3年生の時からチームを組み、「バトンの大切さ」や「絆や繋ぐ」を日々感じながら練習に励み、4年・5年・6年と目標にしていた「学童オリンピック陸上大会」で種目4x100mRで3年連続7位入賞を果たす事が出来ました。100mと800mに出場した2人も大幅な自己ベスト記録更新でチーム内に笑顔と感動を運んでくれました。この陸上スクールの基盤を作ってくれた、中学生のOB・OG、新しい試みで現在のスクールに大きな影響を与えてくれた6年生女子の6人、感謝の気持ちでいっぱいです。今後も『限界突破』のチームスローガンのもと、「感謝と諦めない精神の気持ち」を忘れずに走り続けます。

■ 今後の展望

競技性の高い子ども・体力向上・健康増進等、目標や目的は別でも、一緒にチームで切磋琢磨して成長して欲しいです。長年務めているスポーツ推進委員としてのノウハウを生かしながら、陸上だけでなく、ニュースポーツや他のスポーツも経験し、肌で感じて、子供達を中心に「笑顔で明るい地域おこし」を県南の水俣市の更に南の袋校区から、成長を見守り、サポートして取り組んでいきます。

クラブ情報

熊本市東区「長嶺地域スポーツクラブ」

設立年月日:平成15年11月3日

クラブ理念:地域住民の生涯スポーツの推進、青少年の健全育成、会員相互の親睦

事務局:〒861-8039 熊本市東区長嶺南7丁目21-40

(長嶺中学校体育館内)

TEL/FAX:096-360-4044

mail: nagamine.sports.club@abeam.ocn.ne.jp

■ その他(クラブPR)

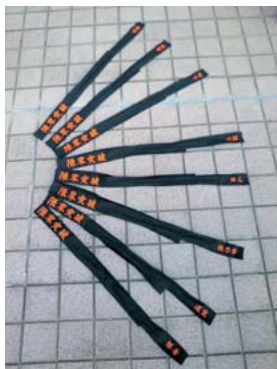
平成18年4月から「ふくろ総合型地域スポーツクラブ」からスタートし、現在は「サンビレッジみなまスポーツクラブ」と名称を変更し、水俣市の袋校区を中心に活動しています。近年では小中学生が参加出来る、プログラムも増え、賑やかにスポーツを楽しんでいます。

陸上・アーチェリー・ビーチバレーボール・グラウンドゴルフ・卓球・ノルディックウォーキング等、誰でも！どこでも！スポーツが出来る環境を整え、84歳の田淵会長を中心に「老若男女問わず、地域を活性化させ、“袋”の宝である子どもたちを育てる」の理念のもとに、地域に根ざしたクラブを運営していきます。

クラブ情報

水俣市「サンビレッジみなまスポーツクラブ」
設立年月日：平成18年4月
クラブ理念：老若男女問わず、地域を活性化させ、“袋”の宝である子どもたちを育てる

事務局：〒水俣市袋933 水俣市立総合体育館南部館
(サン・ビレッジみなま)
TEL:0966-63-0911 mail: michi580711@gmail.com



■ 活動の成果

毎年少しずつ参加者が増えており、現在は約30名の参加申し込みがあります。

特に小学生の参加が増えており、それには、ジュニア対象の陸上シーズンに開催されるトラック種目大会に毎月参加していることがあります。

トレーニングもみんな一緒に楽しめるレクリエーションゲームやラダーを使った本格的なものを取り入れており、大会入賞者もできました。入賞できなくても、大会に出場し、陸上競技場で走れてとても充実した子どもたちの様子を感じています。また、子どもが教室で活動する様子を見て、一緒に参加される親の姿もあります。個人練習だけではなく、子供から大人まで、参加者が和気あいあい楽しめる活動が特徴です。

■ 今後の展望

今は短距離種目で大会に出場していますが、今後は、みんなで充実感を共有できるような、リレーマラソン等の長距離大会の参加を目指しています。

どうしても子どもにとって長距離は避けがちですが、工夫しながら取り組んでいきたいです。

■ クラブPR

誰もが気軽に参加できて、楽しめる内容の教室を開催しています。子どもから大人、高齢者を対象にした幅広い年齢層のクラブです。



フネッピー すこやかスポーツクラブ ～陸上教室紹介～

インタビュー：クラブマネジャー 福永 賀友



■ 活動概要

プログラム名：フネッピー陸上教室

参加対象：子ども～大人

活動曜日、時間：毎週土曜日 17時～19時

活動場所：御船町ふれあい広場

参加費用：4月～6月入会 大人8,000円 子ども7,000円
7月～9月入会 大人7,000円 子ども6,000円
10月～12月入会 大人6,000円 子ども5,000円
1月～3月入会 大人5,000円 子ども4,000円

クラブ情報

御船町「フネッピーすこやかスポーツクラブ」

設立年月日：平成18年4月27日

クラブ理念：日常生活の中で自発的にスポーツを楽しみ、各自の健康の保持増進と会員相互の親睦を図るとともに、健康で心豊かな地域社会の実現に資する。

事務局：〒861-3204 上益城郡御船町大字木倉1176-1
(スポーツセンター内)
TEL:096-282-4111 FAX:096-282-4113
mail: funeppy.mifune@gmail.com

県内の総合型地域スポーツ クラブについて

本会ホームページに一覧を掲載しています!!
ぜひ御覧ください。

御不明な点等ありましたら、本会担当クラブ
アドバイザーまでお問い合わせください。

皆様の御理解・御協力に心から感謝申し上げます。

令和2年度 免税募金

協力企業・団体・個人名

(株)肥後銀行	KMバイオロジクス(株)	(株)ピカッシュ	(株)鶴屋百貨店
(株)熊本日日新聞社	(株)シアーズホーム	(株)ヤマックス	(株)あつまるホールディングス
肥後銀行従業員組合	肥後銀行 徒然の会	(一社)熊本県測量設計コンサルタンツ協会	(株)フタバ
(株)えがお	(株)ヒライ	九州電力(株)熊本支店	アイ・ウッド(株)
サントリー酒類(株)	光進建設(株)	オムロンリレーアンドデバイス(株)	九州産業交通ホールディングス(株)
崇城大学	熊本県私立中学高等学校協会(県内私立21高等学校・8中学校)		肥後銀行 役員一同
(一財)化学及血清療法研究所	(一社)熊本県建設業協会	(株)うまかな・よかなホールディングス	(株)緒方建設
(株)緒方生コン	(株)熊本銀行	(株)テレビ熊本	(株)熊本放送
(株)前田産業	熊本国際空港(株)	熊本市遊技業協同組合	(株)再春館製薬所
熊本酸素(株)	(株)早稲田スクール	(株)ナースパワー人材センター	ハヤカワスポーツ(株)
(株)麻生交通	(株)オジックテクノロジーズ	櫻井精技(株)	千里殖産(株)
朝日野総合病院	井上整形外科クリニック	熊本整形外科病院	熊本機能病院
(一社)日本自動車販売協会連合会熊本支部	(一財)熊本県スポーツ振興事業団	(公社)熊本県医師会	(一社)熊本県宅地建物取引業協会
(公社)熊本県薬剤師会	(一社)熊本県歯科医師会	(有)キクチゴルフセンター	(有)緒方建材
(有)瀬戸口孵化場	(株)キューネット	(株)ハウディ	(株)中九州クボタ
(株)九電工 熊本支店	(株)熊日輸送センター	(株)セルモ	(株)イシヌキ
(株)レイメイ藤井	(株)熊本県民テレビ	(株)有明測量開発社	(株)R K K C S
(株)イワイホーム	(株)TEAM	(株)体育堂	(株)八方建設
(株)サンワード	西日本電信電話(株)熊本支店	ユナイテッドトヨタ熊本(株)	三和コンクリート工業(株)
熊本トヨタ自動車(株)	ネットトヨタ熊本(株)	司観光開発(株)	熊本交通運輸(株)
九州警備保障(株)	マルキン食品(株)	熊本朝日放送(株)	鹿島建設(株)
テクノデザイン(株)	西部ガス(株)	岩下兄弟(株)	高橋酒造(株)
河内産業(株)	熊本県信用金庫協会	熊本県電気工事業工業組合	熊本学園大学
(株)熊本リビング新聞社	熊本日産自動車(株)	(株)アネシス	熊本県グラウンド・ゴルフ協会
清水電気工業(株)	福田病院	(一財)熊本公德会	(一社)熊本県造園建設業協会
(一社)熊本県優良住宅協会	(一社)熊本都市建設業協会	(有)植翠園	(有)坂本石灰工業所
(有)三共緑地建設	(株)大豊	(株)森田緑化造園	(株)緑研
(株)熊本銀行 従業員組合	(株)いづの造園	(株)九建ホーム	(株)エフエム熊本
(株)リフティングブレーン	(株)友和会	(株)清永宇蔵商店	(株)エコポート九州
(株)百花園	(株)ヨネザワ	(株)J T B 熊本支店	(株)松栄パナホーム熊本
九州デジタルソリューションズ(株)	(株)熊日会館	(株)熊日広告社	(株)緒方商店
(株)熊本ホテルキャッスル	(株)KIS	(株)TKUヒューマン	(株)ルミナスホーム
(株)新星	(株)マイスティア	(株)電通九州熊本支社	大成建設(株)九州支店
熊本トヨペット(株)	大森産業(株)	原田木材(株)	木上梅香園(株)
宝興業(株)	大海水産(株)	肥後商事(株)	肥銀カード(株)
肥銀リース(株)	肥銀ビジネス教育(株)	芹川造園(株)	西日本電工(株)
ホテル日航熊本	らくのうマザーズ	熊本県住宅メーカー協議会	熊本日日新聞販売店協同組合

熊本県経済農業協同組合連合会	熊本県果実農業協同組合連合会	JTB協定旅館ホテル連盟熊本支部	(一社)熊本県サッカー協会
不二高压コンクリート(株)	くまもと乳腺・胃腸外科病院	(一社)生命保険協会熊本県協会	(税)ユース会計社
(有)山本釣具センター	(有)松屋本館	(株)インターライフ	(株)熊本地方卸売市場
(株)熊日物流	(株)杉本建設	(株)カーリーノファシリティーズ	(株)杉養蜂園
野村證券(株)熊本支店	アサヒビール(株)熊本支社	佐藤企業(株)	熊本管工建設(株)
熊日サービス開発(株)	九州産交運輸(株)	松木産業(株)	松木運輸(株)
九州柳河精機(株)	九州総合サービス(株)	宮川輝之法律事務所	熊本県漁業協同組合連合会
熊本ノーサイドクラブ	宇城市体育協会	熊本県少林寺拳法連盟	熊本県バドミントン協会
(一財)熊本陸上競技協会	熊本県銃剣道連盟	(株)ワコー	(公社)熊本県観光連盟
(有)らくだ山	(有)江崎道路	(株)RKKメディアプランニング	(株)コスギ不動産
(株)城野印刷所	(株)吉永商会	熊日都市圏販売(株)	三ツ矢建設(株)
熊本保健科学大学	人吉球磨カヌー部	熊本県山岳・スポーツクライミング連盟	幸村医院
熊本回生会病院	南熊本病院	川原胃腸科内科	(税)未来税務会計事務所
(有)サン・ハート	(有)江里運送	(有)多喜田塗装	(株)陽かりの郷
(株)木村建設	(株)高田塗装	(株)藤本物産	(株)フードパル熊本
(株)カネイチ	(株)大同リース	(株)クキタ	(株)建吉組
(株)大劇	(株)ドゥプロプロジェクト	(株)熊本シティエフエム	(株)オカザキ
(株)協和印刷	(株)ホープ建設コンサルタント	(株)トータルインフォメーション	(株)豊田工業所
(株)木村	(株)古荘本店	(株)エコ・ステーション	(株)環境総合技術センター
名鉄観光サービス(株)熊本支店	熊本日産観光(株)	熊青西九州青果(株)	九州中央魚市(株)
宮本電機(株)	熊本ギフト(株)	城南観光(株)	エイティー九州(株)
春日電気(株)	熊本中央リース(株)	開成工業(株)	ジョウツー(株)
水俣石油(株)	水俣地区生コンクリート協同組合	(一社)熊本県バスケットボール協会	熊本県ホッケー協会
熊本県なぎなた連盟	(株)志水工務店	(株)熊本無線	(株)いけだ心善社
シミズ不動産	熊本県スポーツ協会役職員一同		
本松 賢	島田 敏子	白瀬 貴美子	飯村 光敏
坂本 不出夫	秋岡 廣宣	河村 邦比児	松尾 具親
青山 正志	西村 浩二	緒方 知秋	辛木 秀子
平江 公一	水野 修身	荒木 泰臣	小林 義勝
室原亥十二	河野 正一	坂下 玲子	左村 美穂子
平田 浩一	荒木 英幸	藤山 徹雄	新垣 力
溝下 隆昌			

免税募金のお願い

公益財団法人熊本県スポーツ協会は、県民の皆様に多大な御理解と御支援をいただきながら、スポーツの振興が社会の健全な発展に寄与するとの理念のもと、「本県のスポーツを振興し、県民の体力向上を図り、スポーツ精神を涵養し、もって県民の心身の健全な発達に寄与する」ことを目的に協会活動を続けております。

現在では72加盟団体(20郡市体育・スポーツ協会、49競技団体、3学校教育団体)と協働のもと、本県のスポーツを統括する団体として、「スポーツが持つ限らない力を最大限に生かし、明るく豊かで健康的な活力ある熊本づくり」を目指しております。

本会は、県民に夢や希望を与えることができるトップアスリートを養成し、熊本の競技力を全国に発信するとともに、更なるスポーツ文化の向上とスポーツの社会的な貢献を果たすため、「誰もが」、「いつでも」、「どこでも」、「いつまでも」スポーツができる環境を整備し、「競技力の向上」、「地域スポーツの振興」、「青少年の健全育成」に努めて参ります。

本会の活動につきましては、熊本県をはじめ、関係各位の多大な財政援助のもとに成り立っており、本会では、加盟団体と協力して自助努力を行う一方、県民の皆様にも広く呼びかけ、寄附金を仰ぐことといたしました。

令和2年度は、各方面から多大な御理解をいただき、多くの寄附金をいただくことができました。誠にありがとうございました。

経済状況が厳しい中に、このようなお願いを申し上げるのは、誠に恐縮ではございますが、何卒趣旨を御理解いただき、更なる御協力を賜りますようお願い申し上げます。

熊本のスポーツを応援しています

令和2年度 免税募金協賛企業・団体



表記のほかに個人25件と企業・団体164件のご協力をいただいております。